

# ロームシアター京都 2025年度(令和7年度)自主事業ラインアップ

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）  
2025年4月1日 報道発表資料

[本リリースに関するお問合せ先]  
ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）  
広報担当：儀三武、寺田  
電話：075-771-6051（10:00～17:00） FAX：075-746-3366  
E-mail：[press@rohmtheatrekyoto.jp](mailto:press@rohmtheatrekyoto.jp)  
<https://rohmtheatrekyoto.jp/>

# ロームシアター京都 2025 年度 自主事業ラインアップ

2025 年度自主事業の企画にあたって、6 つの事業カテゴリー	3
10 周年について	4

## 作品創造

Sound Around 005 『世界交換手』	5
レパートリーの創造 ホープス 野村真人/西田悠哉 ワーク・イン・プログレス	6
2025年度全国共同制作オペラ 歌劇『愛の妙薬』	7
レパートリーの創造 市原佐都子/Q 『キティ』オーストリア公演	8
レパートリーの創造 ジゼル・ヴィエヌ、エティエヌ・ビドー=レイ 『ショールームダミーズ #4』ドイツ公演	8

## 京響プログラム

京都市交響楽団 オーケストラ・ディスカバリー 2025 ～こどものためのオーケストラ入門～「発見! メモリアルイヤーの作曲家」	9
新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室2025 モーツァルト:『魔笛』	10

## 伝統芸能の継承

市民寄席	11
能の世界へおこしやすー京都新能鑑賞のための公開講座ー	12
第74回京都薪能 一洛中洛外幽玄紀行ー	12
能楽チャリティ公演 ～祈りよとどけ、京都より～	13

## ロームシアター京都セレクション

KYOTOPHONIE in collaboration with MODE サウンドウォーク・コレクティブ&パティ・スミス   コレスポンデンス	14
アンサンブル九条山コンサート vol.16 《The Phoenix Rises: New Music from Los Angeles》	15
オランダ・日本 共同インテグレイテッドダンス公演『UNUM』 & 『lungo』	16
サファリ・P 第11回公演『悪童日記』	17
『燃える花嫁』	18
ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム“KIPPU” 幻灯劇場 新作	19
ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム“KIPPU” 餓鬼の断食『DOGHOUSE』	20
ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム“KIPPU” トレモロ『コリオレイナス(仮)』	20
小池博史ブリッジプロジェクト-ODYSSEY 『HINOTORI 火の鳥・山の神篇』	21
KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2025	22
ゆうめい10周年全国ツアー公演『養生』	23
ダミアン・ジャレ×名和晃平『Planet [wanderer]』	24
ヴッパタール舞踊団 ピナ・バウシュ 『Sweet Mambo』	25
クラウド・ゲイト・ダンスシアター (雲門舞集)『WAVES』	26
ニットキャップシアター 『喫茶とキネマ(仮)』	27
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 『未練の幽霊と怪物』(新作)	28
加藤訓子&中村恩恵『PSAPPHA(プサッファ)』	29

## ラーニング

劇場の学校	30
舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～	31
“いま”を考えるトークシリーズ	32
リサーチプログラム	33
ロームシアター京都×京都市ユースサービス協会連携事業 未来のわたしー劇場の仕事ー	33

## コミュニティ

プレイ!シアター in Summer 2025 <ステージプログラム>アロフト・サーカス・アーツ『ブレイブ・スペース』 fromアメリカ	34
プレイ!シアター in Summer 2025 <ステージプログラム>『CLUB ORIGAMI (クラブオリガミ)』	35
プレイ!シアター in Summer 2025 オープンデイ、劇場ツアー、舞台スタッフワークショップ	36
プレイ!シアター in Summer 2025 京都市交響楽団 0歳からの夏休みコンサート	37
プレイ!シアター in Summer 2025 こども市民寄席 ～小学生のためのらくご教室～	38
プレイ!シアター for the 10 <sup>th</sup> anniversary オープンデイ	39
プレイ!シアター for the 10 <sup>th</sup> anniversary 《継承と創造》「三番叟づくし」	39
プレイ!シアター for the 10 <sup>th</sup> anniversary 「饗宴! 5台のピアノと5人のピアニスト(仮)」	40
ホリデー・パフォーマンス	41
OKAZAKI PARK STAGE 2025	42
ユスカル! ～若者文化市～ 2025	42
ロームシアター京都×京都市文化会館連携事業「シアターデビュー!」促進プログラム タイニーダンサー 『GRO (W) (仮)』 from デンマーク	43
シニア向け事業「となりの劇場」	44
アセンブリープログラム	44
WEBマガジン「Spin-Off (スピンオフ)」	44
音楽総合体験施設 ミュージックサロン	44
会員制度	45
アクセシビリティ情報、事業課メンバー紹介	46

## ● 2025 年度自主事業の企画にあたって

## つづきのはじまりはじまり

ロームシアター京都は、2026 年 1 月にリニューアルオープンから 10 年、新たな幕があく節目を迎えます。「つづきのはじまりはじまり」には、これまでの積み重ねと未来が交差する場、そして、みなさんと共に足を踏み入れ、織り成される次の「物語」への期待を込めています。今秋公開予定のメインビジュアルは、京都在住で多彩な活動を展開するユニット「tupera tupera」が手掛け、記念日の 1 月 10 日、11 日には、アニバーサリーを祝うスペシャルな企画を準備しています。

劇場の財産となる作品をプロデュースするシリーズ「レパートリーの創造」では、京都から世界へ才能を発信するプロジェクト＜ホープス＞が始動します。若手演出家 野村真人・西田悠哉をアソシエイト・アーティストに迎え、それぞれが新作のクリエイションと旧作のリクリエイションを複数年に渡って行います。そして、最前線のダンスプログラムが海外から続々とやってきます。8 年振りの来日となるヴッパタール舞踊団がお届けするのは、2009 年に急逝したピナ・バウシュによる最晩年の作品『Sweet Mambo』。さらに、ダミアン・ジャレ×名和晃平『Planet[wanderer』』、クラウド・ゲイト・ダンスシアター（雲門舞集）『WAVES』と、世界で活躍する振付家と日本のアーティストによる注目のコラボレーションが続きます。現在の社会課題に鋭く切り込む『燃える花嫁』、オペラ演出初挑戦となる杉原邦生を起用した歌劇『愛の妙薬』、岡田利規による能のフォーマットを応用した新作『未練の幽霊と怪物』など、これまで培ってきた公共劇場等とのネットワークを活かした企画が揃っています。

この 10 年間の歩みを基に、一步一步進んでいきます。新たな挑戦と出会いが待つ先で、またひとつの「物語」が生まれていくことでしょう。みなさま、劇場でお会いしましょう！

小倉由佳子（プログラムディレクター）

## ● 2025年度自主事業ラインアップ 6つの事業カテゴリ

## ① 作品創造

劇場の財産となる作品のプロデュースや国内外のアーティストとの協働により、ロームシアター京都を創造の場として活かした事業を展開します。

## ④ ロームシアター京都セレクション

国内外からの選りすぐりの舞台芸術作品をご紹介します。次代を担う若手アーティストの創造支援や KYOTO EXPERIMENT などさまざまな施設や団体と連携して行うプログラムもあります。

## ② 京響プログラム

ロームシアター京都は京都市交響楽団の第 2 のフランチャイズホールです。音楽のみならず他ジャンルとのコラボレーションなどで京響の新たな魅力を広げます。

## ⑤ ラーニング

小中高生、それぞれの年代に応じた育成事業を展開するほか、舞台芸術に関わるレクチャーやリサーチを創作・実践の場と連動して行います。

## ③ 伝統芸能の継承

日本舞踊、能楽、文楽、雅楽といった古典芸能に加え、地域で継がれてきた民俗（郷土）芸能を独自の切り口で紹介し、伝統芸能の面白さを伝えます。

## ⑥ コミュニティ

多様なライフスタイルと密着したプログラムや、ホールを飛び出して行う事業などを通して、京都・岡崎地域の施設や団体と連携を深め、地域の活性化に繋がります。

## ● ロームシアター京都 10周年について

2025年度（2026年1月10日）に、ロームシアター京都が京都会館からリニューアルして10周年を迎えます。この間、「劇場文化をつくる」をコンセプトに、劇場自らが企画・製作する舞台芸術作品の創造・発表、世界水準の舞台芸術作品の招聘などに加え、芸術と生活を重ね合わせ、多彩で豊かなライフスタイルを、市民の皆様とともに創っていくことを目指して参りました。2025年度は「つづきのはじまりはじまり」をテーマに、さらなる未来への歩みを進めていきます。

また、これを記念し、ロームシアター京都では2025年10月31日～2026年12月31日の期間にかけて、各種記念事業を展開いたします。

## ● 10周年記念ロゴについて



10周年のお祝いと、未来への期待を込めたシンボルマーク。くるくるとまわる動的な展開で「劇場文化」を、明るいグラデーションカラーで「多様な可能性」を表現しています。

デザイン：ym design Co.Ltd.

### ロームシアター京都 10周年記念事業

## ● 10周年記念事業メインビジュアル担当アーティスト

ロームシアター京都10周年を記念するメインビジュアルを、幅広い分野で多彩な活動を展開するユニット「tupera tupera」が手掛けます。お披露目は2025年秋を予定しています。



©Ryumon Kagioka

### tupera tupera | ツペラツペラ

亀山達矢と中川敦子によるユニット。絵本やイラストレーションをはじめ、TVや舞台、空間のアートディレクションなど、様々な分野で幅広く活動している。著書に「かおノート」(コクヨ)「やさいさん」(Gakken)「いろいろバス」(大日本図書)「うんこしりとり」(白泉社)など多数。海外でも多くの国で翻訳出版されている。NHK Eテレの工作番組「ノージーのひらめき工房」のアートディレクションも担当。絵本「しろくまのパンツ」(ブロンズ新社)で第18回日本絵本賞読者賞、Prix Du Livre Jeunesse Marseille 2014 (マルセイユ子どもの本大賞 2014)グランプリ、「パンダ銭湯」(絵本館)で第3回街の本屋が選んだ絵本大賞グランプリ、「わくせいキャベジ動物図鑑」(アリス館)で第23回日本絵本賞大賞を受賞。2019年に第1回やなせたかし文化賞大賞を受賞。

#### < tupera tupera からのメッセージ >

「ロームシアター京都10周年」という大切な節目のビジュアルを担当させて頂けること、とても有り難く嬉しい気持ちでいっぱいです。

劇場は、何もなければ静かな箱ですが、そこに入って来る人、もの、によって変幻自在にいろいろな顔を見せてくれます。

京都という土地で、継承されていくものと、新しく生まれてくるものと、そこに集う人々が、積み重なり溢れ出すような！ワクワクする10周年を、みなさんと一緒に作り上げていきたいと思っています。

## ● 劇場のあゆみ

- ・1960年4月29日、全国に先駆けた多目的な公立文化ホールとして、京都・岡崎の地に「京都会館」誕生。  
(設計：前川國男)
- ・2011年6月、「京都会館再整備基本計画」を策定。同年9月、ローム株式会社と京都会館の命名権に関する契約を締結。
- ・2016年1月10日、「ロームシアター京都」開館。
- ・2023年、文化芸術都市における“劇場文化”を振興したことが評価され、令和5年度地域創造大賞(総務大臣賞)受賞。

# Sound Around 005 『世界交換手』

日程：9月13日(土)、9月14日(日) 開演時間未定  
会場：ノースホール

主催

音楽



## シリーズ第5弾は今注目のアーティスト、細井美裕



音楽を軸とし、ジャンルや固定観念にとらわれない表現活動を行うアーティストによるパフォーマンスシリーズの第5弾。2024年2月にロームシアター京都にて上演された<レポーター作品>高谷史郎『Tangent』のプロジェクト・メンバーで、パフォーマーとしての出演の記憶もあたらしい細井美裕が、今回のメイン・アーティストをつとめます。再現不可能な「いまこの時・この場の音」を録ること、そしてそれを聴くこと。録音という行為を作品を通してめぐります。

アーティスト：細井美裕  
エンジニア：伊藤隆之、イトウユウヤ (arsaffix Inc.)

### プロフィール

#### 細井美裕 | Miyu Hosoi

1993年生まれ、慶應義塾大学卒業。自身の声による多重録音作品のほか、マルチチャンネル音響をもちいたサウンドインсталレーションや屋外インсталレーション、舞台作品など、空間の認識や状況を変容させる音に焦点を当てた作品制作を行う。これまでにNTTインターコミュニケーション・センター [ICC] 無響室、山口情報芸術センター [YCAM]、国際音響学会、長野県立美術館、愛知県芸術劇場、日比谷公園などで発表。

2025年3月 IRCAM (フランス国立音響研究所)、5月バービカン・センター (ロンドン) にてインсталレーションを発表予定。



©So Mitsuya

### チケット情報

料金未定 / 全席自由

7月13日(日) 一般発売 / 7月6日(日) 会員先行発売

主催：ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業 (劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会

# レパトリーの創造 ホープス 野村真人／西田悠哉 ワーク・イン・プログレス

日程：2026年1～3月予定

会場：ノースホール



主催 演劇

## 京都発・若手注目演出家と世界を目指すプロジェクトが始動！

若手アーティスト、クリエイターと協働し、京都から世界へ才能を発信する新プロジェクト「レパトリーの創造 ホープス」を開始します。京都を拠点に活動する若手演出家 野村真人・西田悠哉の2名をアソシエイト・アーティストに迎え、それぞれ新作のクリエイションと旧作のリクリエイションを行います。

- ・2026年1～2月 西田悠哉 ワーク・イン・プログレス
- ・2026年3月 野村真人 ワーク・イン・プログレス
- ・2026年秋～冬 野村真人・西田悠哉 各新作発表、旧作リクリエイション

## アソシエイト・アーティスト

### 野村真人 | Masato Nomura

1991年生まれ。京都在住。2016年より演出家として活動。レトロニム\*のメンバー。人・場所・環境の現実的な関係に演劇を引用することを起点に、近年では青森県津軽地方での墓にまつわるフィールドワークや、精神医療や高齢者福祉施設でのリサーチをベースとした作品・プロジェクトに取り組んでいる。また、村川拓也作品やタニノクロウ作品に、俳優や演出助手としても参加。2024年度ACYアーティスト・フェロー。利賀演劇人コンクール2018優秀演出家賞。



Photo by shimizu kana

#### \*レトロニム

瀬戸沙門（俳優）、武内もも（陶芸家・美術家）、野村真人（演出家）からなるコレクティブ。劇団速度（2016～2021）を前身に、集まり方を変えることで2022年からレトロニムとなる。観客や観客席といった、各メンバーの関心ごとをキーワードに集まり、フリーペーパーの団体誌「スーパーリラックス」の発行や企画展のキュレーション、グループ展の開催やパフォーマンスの制作などを行っている。

リクリエイション対象作品（予定）：『吉日再会』（2024年5月初演）

### 西田悠哉 | Yuya Nishida

1993年東京都生まれ富山県育ち。劇団不労社\*代表。劇作家・演出家。現代社会に潜む歪な人間模様を滑稽かつグロテスクに描く作劇を特徴とする。京都大学大学院在学。創作と並行して、ハロルド・ピントアの劇作術についての研究を行う。2021年より無隣館4期を経て青年団所属。主な受賞歴として、「関西演劇祭2021」ベスト演出賞、「若手演出家コンクール2022」優秀賞、「演劇人コンクール2024」最優秀演出家賞・観客賞など。ゼン文化財団2025年度ゼン・フェロー。



Photo by Shun Ujita

#### \*劇団不労社

2015年に代表の西田悠哉が大阪大学を母体に旗揚げ。2022年よりKAICAアソシエイトカンパニー。近年はムラ社会的な閉鎖コミュニティを舞台とした「集団暴力シリーズ」に取り組むほか、実験的枠組として「FLOW series」を展開。2023年度「ロームシアター京都×京都芸術センター U35 創造支援プログラム“KIPPU”」にて上演した『MUMBLEーモグモグ・モゴモゴー』の成果より、「第2回 関西えんげき大賞」優秀作品賞・観客投票ベストワン賞、「第1回 日本みどりのゆび舞台芸術賞」HOPE賞など受賞。

リクリエイション対象作品（予定）：『MUMBLEーモグモグ・モゴモゴー』（2023年12月初演）

## チケット情報

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市  
助成：文化芸術活動基盤強化基金（クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業）  
独立行政法人日本芸術文化振興会

未定

2025年度全国共同制作オペラ  
歌劇『愛の妙薬』日程：2026年1月18日(日) 14:00  
会場：メインホール

主催

音楽



## ベルカントオペラのスペシャリスト セバスティアノー・ロッシ × オペラ初演出の杉原邦生



セバスティアノー・ロッシ

杉原邦生

撮影：細野晋司

演目：歌劇『愛の妙薬』（全2幕、イタリア語上演、日本語・英語字幕付き / 新制作）

作曲：ガエターノ・ドニゼッティ

台本：フェリーチェ・ロマーニ

指揮：セバスティアノー・ロッシ

演出：杉原邦生 (KUNIO)

出演：

アディーナ：高野百合絵

ネモリーノ：糸賀修平

ベルコーレ：池内響

ドゥルカマーラ博士：セルジオ・ヴィターレ

ジャンネッタ：秋本悠希

管弦楽：京都市交響楽団

現代に生まれ変わる！

とびきりハッピーでカワイイ ロマンティック・コメディ。  
美人で聡明、ちょっと勝ち気な娘アディーナと、彼女に恋する純真無垢な青年ネモリーノが、偽の惚れ薬”愛の妙薬”によって結ばれるロマンティック・コメディ。テノール屈指の名アリア「人知れぬ涙」をはじめ、「受け取って、私のおかげであなたは自由」「この薬はなんでも治します」などの名曲が、コミカルでちょっと切ない恋物語を美しく彩ります。

京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）出身で、ギリシャ悲劇から歌舞伎、現代劇まで幅広いジャンルを手掛けてきた演出家・杉原邦生が初のオペラ演出に挑みます。指揮は、ベルカントオペラのスペシャリスト、セバスティアノー・ロッシ。日本 & 海外混成による新進気鋭の歌手陣とともに織りなす、最高にハッピーでカワイイ『愛の妙薬』が、いま幕をあける…！

## 【全国共同制作オペラシリーズとは】

全国の劇場・音楽堂、芸術団体等が連携し、単館では成しえない、独創的かつ高いレベルのオペラを新演出で制作するプロジェクト。2009年度から開始し、野田秀樹演出のモーツァルト『フィガロの結婚～庭師は見た！～』（2015年度/10都市13公演）、岡田利規演出『夕鶴』（2021年度/3都市3公演）、野村萬斎演出の『こうもり』（2023年度/3都市3公演）、森山開次演出の『ラ・ボエーム』（2024年度/7都市8公演）など実績を積んでいる。

## プロフィール

セバスティアノー・ロッシ  
Sebastiano Rolli

1975年北イタリアのココロノ生まれ。パルマのアッリーゴ・ポイト音楽院とミラノのジュゼッペ・ヴェルディ音楽院を経て、マルチェロ・コナティ、ピエルイジ・ベトロベリ等著名な音楽学者へ作劇法を師事。ベルカント・オペラへ精通した指揮者で、ベルガモのドニゼッティ劇場、ヴェネツィアのフェニーチェ劇場をはじめとするイタリア国内各地の劇場での活躍が目覚ましい。特にドニゼッティ、ベリニのスペシャリストとして知られる。その他「ナブッコ」、「ドン・カルロ」、「ファルスタフ」等ヴェルディ作品、「セビリアの理髪師」、「チェネレントラ」等ロッシニ作品の演奏も豊富。元アルトゥーロ・トスカニーニ財団及びミラノ・スカラ座財団楽譜解釈法並びに発声法教授。著作に「音楽劇の巨匠ジュゼッペ・ヴェルディ」、「ジュゼッペ・ディ・ステファノその個性」等、ダイナミック、ボンジョヴァンニ各レーベルにDVD、ブルーレイがある。

杉原邦生  
Kunio Sugihara

演出家、舞台美術家。KUNIO 主宰。2004年、プロデュース公演カンパニー“KUNIO”を立ち上げる。これまでの KUNIO の作品に『エンジェルス・イン・アメリカ 第1部「至福千年紀が近づく」第2部「ベレストロイカ」』、「Q1」バージョンを新訳で上演した『ハムレット』、上演時間10時間に及ぶ大作『グリークス』、大学の恩師でもある太田省吾作品を鮮烈に蘇らせた『更地』などがある。近年の主な演出作品は、PARCO PRODUCE 2024『東京輪舞』、KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース『SHELL』、歌舞伎座『新・水滸伝』、ホリプロ『血の婚礼』、COCOON PRODUCTION 2022 / NINAGAWA MEMORIAL『パンドラの鐘』、さいたまゴールド・シアター最終公演『水の駅』など。第36回京都市文化奨励賞受賞。  
<https://kunio.me>

&lt;他地域での公演&gt;

東京公演 11月9日(日) 東京芸術劇場

大阪公演 11月16日(日) フェニーチェ堺

## チケット情報

全席指定

SS席：13,000円 / 会員特別価格 12,000円

S席：11,000円 / 会員特別価格 10,000円

A席：8,000円

B席：6,000円

C席：4,000円

D席：3,000円

S席 25歳以下：5,000円

S席 18歳以下：3,000円

6月28日(土) 一般発売 / 6月21日(土) 会員先行発売

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市  
共同制作：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）、フェニーチェ堺（公益財団法人堺市文化振興財団）  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業（共同制作支援事業）） | 独立行政法人日本芸術文化振興会  
特別協賛：日東薬品工業ホールディングス株式会社  
後援：イタリア大使館

## レパトリー作品 ツアー情報

< ロームシアター京都レパトリー作品 > として製作された2作品が、2025年に海外にて上演されます。

市原佐都子 / Q

## 『キティ』 オーストリア公演

演劇



撮影：中谷利明

2024年度<ロームシアター京都レパトリー作品>として製作し、2025年2月にロームシアター京都で初演した市原佐都子/Q『キティ』が、3月の東京公演を経て、世界有数の舞台芸術フェスティバルである、ウィーン芸術週間（オーストリア）にて上演されます。

作・演出：市原佐都子

出演：ソン・スヨン（Creative VaQi）、永山由里恵（青年団）、  
バーディ・ウォン・チンヤン（Artocrite Theater）、  
花本ゆか（はなもとゆか×マツキモエ）

音楽・サウンドデザイン：荒木優光

衣裳：南野詩恵（お寿司）

舞台美術：中村友美

照明：魚森理恵（kehaiworks）

映像：小西小多郎

企画製作：ロームシアター京都

協力：城崎国際アートセンター（豊岡市）

ウィーン芸術週間（オーストリア）

Wiener Festwochen

日程 5月25日（日）～5月27日（火）

会場 Halle G, MuseumsQuartier

&lt;『キティ』上演歴&gt;

[初演]2025年2月17日（月）～2月24日（月・休）ロームシアター京都 ノースホール  
[東京公演]シアターコモンズ'25 2025年3月1日（土）・2日（日）スパイラルホール

ジゼル・ヴィエンヌ、エティエンヌ・ビドー＝レイ

## 『ショールームダミーズ #4』 ドイツ公演

舞踊



撮影：守屋祐樹

ロームシアター京都が2020年に製作・発表した『ショールームダミーズ #4』が、高い評価を得てベルリン芸術祭「舞台芸術シーズン（Performing Arts Season）」にて上演されます。日本からの作品が選出されるのは初。

演出・振付・舞台美術：ジゼル・ヴィエンヌ、エティエンヌ・ビドー＝レイ

出演：朝倉千恵子、大石紗基子、高瀬瑠子、花島令、藤田彩佳、堀内恵

照明デザイン：アルノー・ラヴィッセ／パトリック・リウー

音響：瀧口翔

企画製作：ロームシアター京都

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（国際芸術交流）） | 独立行政法人日本芸術文化振興会

ベルリン芸術祭（ドイツ）Berliner Festspiele

日程 2025年12月5日（土）、6日（日）

会場 Haus der Berliner Festspiele

&lt;『ショールームダミーズ #4』上演歴&gt;

[初演]2020年2月8日（土）・2月9日（日）ロームシアター京都 サウスホール  
[パリ（フランス）公演] フェスティバル・ドートンヌ  
2021年11月11日（木）～11月14日（日）ボンビドーウ・センター

京都市交響楽団

オーケストラ・ディスカバリー 2025

～こどものためのオーケストラ入門～「発見！メモリアルイヤーの作曲家」

日程：6月15日(日)、9月7日(日)、12月21日(日)、2026年3月29日(日) 全回14:00  
会場：メインホール

共催

音楽



17年目を迎える2025年度の「オーケストラ・ディスカバリー」は「発見！メモリアルイヤーの作曲家」がテーマ



上左より：鈴木優人 (©Marco Borggreve)、沖澤のどか (©Felix Broede)  
下左より：ウエンツ瑛士、ルウォ・ジャチン、会田莉凡 (©K.Miura)、晴雅彦、石橋栄実

生誕200年となるヨハン・シュトラウスII世をテーマ作曲家として、メモリアルイヤーの作曲家のすてきな音楽をお贈りします。第1回、第3回には指揮者体験コーナーも！お楽しみに！

チケット情報

おとな (19歳以上) 子ども (5歳以上18歳以下)  
・4回シリーズ通し券 (指定席)  
おとな：11,000円 子ども：5,000円  
販売中～4月25日(金) 17:00まで  
・1回券 (指定席) おとな：3,000円 子ども：1,500円  
・1回券 (自由席) おとな：2,500円 子ども：1,000円  
4月26日(土) 一般発売

【第1回】6月15日(日) 音楽と物語と

こどものために作曲された「ピーターとおおかみ」も！音楽が先か物語が先かディスカバリー  
指揮：鈴木優人 語り：ウエンツ瑛士 ヴァイオリン：大石彩代 (京都市立芸術大学)、古川真耶 (京都子どもの音楽教室)  
曲目：ピゼー：歌劇「カルメン」前奏曲  
サラサーテ：カルメン幻想曲  
クライスラー：ウィーン奇想曲  
メンデルスゾーン：「夏の夜の夢」から「スケルツォ」「夜想曲」「結婚行進曲」  
ヨハン・シュトラウスII世：ポルカ「雷鳴と電光」♪指揮者体験コーナー  
プロコフィエフ：交響的物語「ピーターとおおかみ」

【第2回】9月7日(日) 国を越えてリズムがわたる

仙台国際音楽コンクール優勝のルウォ・ジャチンも！いろんなリズムをディスカバリー  
指揮：鈴木優人 独奏：ルウォ・ジャチン (ピアノ)  
曲目：芥川也寸志：交響管弦楽のための音楽  
ヨハン・シュトラウスII世：ワルツ「美しく青きドナウ」  
ラヴェル：ピアノ協奏曲 ト長調  
ショスタコーヴィチ：「舞台管弦楽のための組曲第1番」から「行進曲」「ダンス第2番」「リリック・ワルツ」「ワルツ第2番」「終曲」  
ラヴェル：ボレロ

【第3回】12月21日(日) 時代を超えて踊る踊る

クリスマス時期の定番「くるみ割り人形」も！いろんな踊りをディスカバリー  
指揮：沖澤のどか (京都市交響楽団常任指揮者)  
曲目：ヨハン・シュトラウスII世：シャンペン・ポルカ、ポルカ「観光列車」、皇帝円舞曲  
アンダーソン：ワルツィング・キャット、そりすべり、クリスマス・フェスティバル  
チャイコフスキー：バレエ音楽「くるみ割り人形」から「行進曲」「トレパーク」「あし笛の踊り」「花のワルツ」「こんべい糖の踊り」「パ・ド・ドゥ」  
♪指揮者体験コーナー (トレパーク)

【第4回】2026年3月29日(日) 歌と楽器と音楽と

「青少年のための管弦楽入門」も！歌もオーケストラも全部ディスカバリー  
指揮：沖澤のどか (京都市交響楽団常任指揮者) 独唱：石橋栄実 (ソプラノ) 語り：晴雅彦  
独奏：会田莉凡 (ヴァイオリン/京響特別客演コンサートマスター) 合唱：京響コーラス  
曲目：ヨハン・シュトラウスII世：ワルツ「春の声」  
フォーレ：パヴァーヌ  
山田耕柁：赤とんぼ ♪みんなで歌おう  
サン・サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ  
ファリャ：バレエ音楽「恋は魔術師」から「火祭りの踊り」  
ウェーバー：歌劇「魔弾の射手」序曲  
ブリテン：青少年のための管弦楽入門 (パーセルの主題による変奏曲とフーガ)

主催：京都市交響楽団 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市  
共催：ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)  
協賛：ローム株式会社  
後援：京都市教育委員会  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業 (公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

## 新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室2025

## モーツァルト：『魔笛』

日程：10月28日(火)、10月29日(水) 両日13:00

会場：メインホール

主催

音楽

## ウィリアム・ケントリッジ演出によるモーツァルト・オペラ



撮影：寺司正彦 提供：新国立劇場



撮影：寺司正彦 提供：新国立劇場

「高校生のためのオペラ鑑賞教室」では、2016年のリニューアルオープン以降、『フィガロの結婚』『蝶々夫人』『魔笛』『ドン・パスクワレ』と上演を重ねてきました。『魔笛』の京都での上演は4回目。“ジングシュピール”（歌芝居）として親しみやすいこの作品は、「おいらは鳥刺し」「パ・パ・パ」といった親しみやすい曲や、夜の女王の有名なアリアなど、聴きどころが満載です。

ウィリアム・ケントリッジ演出のこのプロダクションは、ケントリッジならではの人間哲学に満ち、ビジュアルアートとしての迫力も相まって、観客に多くの問いを投げかけます。ケントリッジは日本で初の大規模展覧会（京都国立近代美術館）、京都賞受賞など京都の地とも縁が深く、上演の都度大きな反響を呼んでいます。

## チケット情報

2,200円（高校生および引率者〔学校団体〕学校団体での申込を受付中

※10月29日のみ受付中。28日公演は満席につき受付終了いたしました。

※残席がある公演日に限り、高校生以下および一般への販売を行います。

[発売日未定]

演目：モーツァルト作曲：『魔笛』【全2幕（ドイツ語上演/日本語字幕付）】

指揮：城谷正博

演出：ウィリアム・ケントリッジ

ザラストロ：斉木健詞

タミーノ：糸賀修平

弁者・僧侶Ⅰ・武士Ⅱ：清水宏樹

僧侶Ⅱ・武士Ⅰ：水野優

夜の女王：梅津碧

パミーナ：九嶋香奈枝

侍女Ⅰ：今野沙知恵

侍女Ⅱ：宮澤彩子

侍女Ⅲ：石井藍

パパゲーナ：種谷典子

パパゲーノ：駒田敏章

モノスタトス：高島伸吾

合唱：新国立劇場合唱団

管弦楽：京都市交響楽団

主催：京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、新国立劇場

助成：公益財団法人ロームミュージックファンデーション

協賛：ローム株式会社

# 市民寄席

日程：5月27日(火)、7月22日(火)、9月28日(日)、11月25日(火)  
2026年1月25日(日)  
会場：サウスホール

主催

演劇



※託児は9月と1月のみ

## 上方落語を楽しむ恒例シリーズ！



撮影：佐々木卓男

1957年から開催されている、上方落語協会に所属する落語家による恒例寄席。1月25日(日)は、ロームシアター京都10周年記念事業として特別回を実施します。



## 各回日程



第375回出演者 左より 桂雀三郎、笑福亭竹林、露の眞、桂小文三

### 第375回 5月27日(火) 19:00

「子ほめ」桂小文三  
「コンパ大作戦(桂あやめ作)」露の眞  
「いらちの愛宕詣り」笑福亭竹林  
「三十石」桂雀三郎

第376回 7月22日(火) 19:00

第377回 9月28日(日) 13:30

第378回 11月25日(火) 19:00



第379回 2026年1月25日(日) 13:30  
(ロームシアター京都10周年記念事業)

## チケット情報

全席指定

第375回、第376回、第378回

前売：1,800円 / 会員特別価格 1,700円

当日：2,000円

ユース(25歳以下)：1,500円

第377回、第379回

前売：2,300円 / 会員特別価格 2,100円

当日：2,500円

ユース(25歳以下)：1,500円

第375回(発売中)

第376回 5月27日(火)一般発売/ 5月20日(火)会員先行発売

第377回 7月22日(火)一般発売/ 7月15日(火)会員先行発売

第378回 9月28日(日)一般発売/ 9月21日(日)会員先行発売

第379回 11月25日(火)一般発売/ 11月18日(火)会員先行発売

## 能の世界へおこしやす

## — 京都薪能鑑賞のための公開講座 —

日程：6月1日(日)、6月2日(月) 両日14:00

会場：メインホール

主催

演劇



## 京都薪能の開演前に、能・狂言の魅力、いざ体験



京都薪能を通じて能と狂言の世界をお楽しみいただくために、出演者による公開レクチャーを今年も実施いたします。能の謡や囃子、狂言の体験を交えた解説の後に、ダイジェスト版の能も鑑賞していただけます。午後6時に開催される“京都薪能”をご覧になる前に、午後2時からの無料レクチャー「能の世界へおこしやす」にどうぞお越しください。

京都いつでもコール TEL:075-661-3755

ロームシアター京都 TEL:075-771-6051

## チケット情報

全席自由 無料、申込不要

主催：京都市、一般社団法人京都能楽会、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

## 第74回京都薪能 — 洛中洛外幽玄紀行 —

日程：6月1日(日)、6月2日(月) 両日18:00

会場：平安神宮特設能舞台 ※雨天の場合はメインホール

共催

演劇

## 平安神宮で、観世・金剛・大蔵各流儀による能・狂言を披露



能の普及と発展をめざして毎年開催され、今や京都の初夏の風物詩となっている京都薪能。夕闇の中で篝火が焚かれ、平安神宮の朱塗りの社殿が映し出されるなか、特設の能舞台が闇夜に浮かび上がり、幻想的な雰囲気がいまを包みます。観世・金剛・大蔵の各流派による能や狂言が楽しめるという豪華なもので、例年京都はもとより国内外からも多くの観客が来場し、幽玄の世界に酔いしれます。

6月1日(日)

観世流能「橋弁慶」(シテ) 河村和貴

金剛流能「胡蝶」(シテ) 金剛永謹

大蔵流狂言「髭櫓」(シテ) 茂山千五郎

観世流能「融」(シテ) 浦田保浩

6月2日(月)

金剛流能「嵐山」(シテ) 種田道一

観世流能「夕顔」(シテ) 橋本擴三郎

大蔵流狂言「太刀奪」(シテ) 茂山宗彦

観世流能「雷電」(前シテ) 宮本茂樹 (後シテ) 梅田嘉宏

※両日とも1曲目の後に「火入式」を行います。

京都いつでもコール TEL:075-661-3755

## チケット情報

指定席

SS席：10,000円 S席：8,000円 A席：7,000円 B席：6,000円

自由席：4,000円

4月1日(火) 一般発売

主催：京都市、一般社団法人京都能楽会

共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

協賛：平安神宮、京都中央信用金庫、月桂冠株式会社

# 能楽チャリティ公演 ～祈りよとどけ、京都より～

日程：8月21日(木) 第1部10:30/第2部18:30

会場：サウスホール

共催

演劇



山姥 白頭

京都在籍の能楽師有志による能楽チャリティ公演

## 【第1部】

能「経正」(シテ) 宮本茂樹

狂言「土筆」(シテ) 茂山 茂

能「鉄輪」(シテ) 浦田保親

## 【第2部】

半能「養老 水波之伝」(シテ) 分林道治

狂言「呼声」(シテ) 茂山千之丞

半能「山姥 白頭」(シテ) 片山九郎右衛門

## チケット情報

全席自由

2,000円(第1部・第2部とも)

※未就学児入場不可

※前売・当日・一般・学生、同一料金

6月1日(日) 一般発売

主催：京都在籍能楽師有志

共催：京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、国際交流基金京都支部

協力：松和印刷株式会社、株式会社京都舞台美術製作所

## KYOTOPHONIE in collaboration with MODE

サウンドウォーク・コレクティブ & パティ・スミス  
コレスポンド

日程：4月29日(火・祝) 13:00/17:30

会場：サウスホール

共催

音楽

## 伝説の詩人、約9年ぶりの来日！



Courtesy of Soundwalk Collective

パフォーマンス出演：

パティ・スミス（ヴォーカル）

ステファン・クラスニアンスキー（フィールドレコーディング/フォアリー）

シモーヌ・メルリ（シンセサイザー）

ルーシー・レイルトン（チェロ）

ディエゴ・エスピノサ・クルス・ゴンザレス（ドラム/パーカッション）

ペドロ・マイア（ビジュアル/ライティング）

セバスチャン・ピュロー（サウンドエンジニア）

・KYOTOPHONIE は毎年、国内外の多彩なアーティストを京都に招き、パフォーマンスを繰り広げています。毎年春と秋に開催されるこのフェスティバルは、「KYOTOGRAPIE 京都国際写真祭」の共同創設者であるルシール・レイボーズと仲西祐介によって2023年に設立されました。両フェスティバルは、従来のジャンル、会場、形式にとらわれず、京都と世界を繋ぐ架け橋となっています。

・MODE は、2018年にロンドンで創設された実験音楽、オーディオビジュアル、パフォーマンスを紹介するプラットフォーム。坂本龍一がキュレーターを務めた初開催以降、ロンドンと東京を拠点に「音」を軸とした国際的な文化交流の場として展開しています。

アーティストのステファン・クラスニアンスキーとプロデューサーのシモーヌ・メルリが率いる現代音響芸術コレクティブのサウンドウォーク・コレクティブと、70年代のNYアート・カルチャーシーンを代表する世界的な文化アイコン、パティ・スミスによる最新プロジェクト。ステファンが詩的な靈感や歴史的な重要性をもつ土地を訪れフィールドレコーディングによって「音の記憶」を採集し、パティがその録音との親密な対話を重ねて詩を書き下ろし、さらにそのサウンドトラックに合わせてサウンドウォーク・コレクティブが映像を編集する。こうした“往復書簡（＝コレスポンド）”によって生まれたのが、本パフォーマンスの根幹を成す8つの映像作品です。これらの映像は、人間と自然の関係やアーティストの役割、人間の本質について観るものに問いかけます。

本公演は、「KYOTOPHONIE ボーダーレスミュージックフェスティバル 2025 春」のプログラムとして、実験音楽、オーディオビジュアル、パフォーマンスを紹介するイベントシリーズ「MODE」と共同開催いたします。

## プロフィール

## パティ・スミス | Patti Smith

パティ・スミスは1946年シカゴで生まれ、ニュージャージー州南部で育ったのち、1967年ニューヨークに移住。詩とロックを融合させた革新的なアルバム『ホースス』(Horses, 1975) でデビューして以来、数々のアーティストやミュージシャンに影響を与え、世界的な文化アイコンとして知られる。音楽、著作、パフォーマンス、視覚芸術における業績は各分野で高く評価されており、グラミー賞に4度ノミネートされたほか、『ホースス』は米国議会図書館の国家保存重要録音物登録簿に登録されている。また写真や絵画、インスタレーションを手がけるアーティストとしても活躍し、世界中のギャラリーや美術館で展示を行っている。著作に全米図書賞を受賞したベストセラー回顧録『ジャスト・キッズ』のほか、『ウールギャザリング』『Mトレイン』『無垢の予兆』など多数。2020年にペン/フォークナー賞を受賞、コロビア大学から名誉博士号を授与される。2022年には彼女の生涯の業績を称えて伝レジオンドヌール勲章を受勲した。



Photo by Jesse Paris Smith

## サウンドウォーク・コレクティブ | Soundwalk Collective

サウンドウォーク・コレクティブは、アーティストのステファン・クラスニアンスキーとプロデューサーのシモーヌ・メルリが率いる現代音響芸術コレクティブ。アーティストやミュージシャンとの共同作業により、コンセプトや文学、芸術的なテーマを検証するために、場所や状況に応じたサウンドプロジェクトを展開。パティ・スミスや映画監督のジャン＝リュック・ゴダール、写真家のナン・ゴールデン、振付家のサシャ・ヴァルツ、女優で歌手のシャルロット・ゲンズブールといったアーティストたちとの長期的なコラボレーションを行なう。彼らの実践はアートインスタレーション、ダンス、音楽、映画と多岐にわたり、音を詩的で感觸を伴う素材として扱うことで異なるメディアを結びつけ、複層的な物語を創造することを可能にしている。2022年のベネチア国際映画祭で金獅子賞を受賞したローラ・ポイトラス監督の『美と殺戮のすべて』ではオリジナルサウンドトラックを制作。これまでボンビッドゥ・センター（パリ）、ドクメンタ（カッセル）、クンストヴェルケ現代美術センター（ベルリン）、ニューミュージアム（NY）などで展示やパフォーマンスを発表している。



Photo by Vanina Sorrenti

## チケット情報

全席指定  
SS席 20,000円、S席 11,500円、A席 9,500円、B席 5,500円  
発売中

問合せ先 KYOTOPHONIE 事務局：info@kyotophonie.jp

主催：一般社団法人 KYOTOPHONIE / MODE / 株式会社 YY  
共催：京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

# アンサンブル九条山コンサート vol.16 《The Phoenix Rises: New Music from Los Angeles》

日程：5月11日(日) 14:00  
会場：ノースホール

共催

音楽



## グラミー賞受賞ジェフ・フォン・デル・シュミット × 現代音楽演奏集団・アンサンブル九条山のコンサート

2度のグラミー賞を受賞、LAの現代音楽シーンを牽引する音楽家・プロデューサー、ジェフ・フォン・デル・シュミットと、京都を拠点に活動する現代音楽演奏集団・アンサンブル九条山のコンサートを開催します。

ロス・フィルの花形打楽器奏者として知られたクラフト作品をはじめ、その妻ファンとの共作、フランスでも活躍したニャット・タン、東洋哲学の影響が色濃いハリソンとケージ。全作曲家たちと強い絆で結ばれた、シュミットならではのプログラム。大火からの復興の想いも込められた”LAの新しい音楽“をご堪能ください。

ルー・ハリソン：森の歌

ジョン・ケージ：7つの俳句

ウィリアム・クラフト：「月に憑かれたピエロ」からのセッティング《アジア／日本初演》

ヴ・ニャット・タン：雲《遺作・世界初演》

ジョーン・ファン：インプレッションズ・オブ・グースー《アジア／日本初演》

ウィリアム・クラフト & ジョーン・ファン：万華鏡とモザイク《アジア／日本初演》

\*プログラムは変更になる場合があります

### プロフィール

#### ジェフ・フォン・デル・シュミット（監修・指揮）

##### Jeff von der Schmidt

1955年カリフォルニア州ロサンゼルス生まれ。ウィーン大学（オーストリア）、南カリフォルニア大学で学ぶ。カリフォルニアで1987年より現代音楽アンサンブル Southwest Chamber Music を主宰、指揮と芸術監督をつとめるほか、2012年より LA International New Music Festival を開催。アメリカ国内はもとよりオーストリア、メキシコなど多岐にわたる演奏活動に加え、Tambuco をはじめとした数々の演奏団体やアーティストの公演・CDなどをプロデュース。最優秀小アンサンブル指揮者賞として2度のグラミー賞を受賞。同賞には30枚のコンパクトディスク録音で計8度ノミネートされている。また、2015年より Hanoi New Music Ensemble（ベトナム）の指揮者兼芸術顧問を務めている。



#### アンサンブル九条山 | Ensemble Kujoyama

2010年ヴィラ九条山レジデントであったヴァレリオ・サニカンドロにより設立された現代音楽アンサンブル。国内外でキャリアを積み、ソリストとしても広く活動する現代音楽のスペシャリスト達で構成されている。2015年より演奏家による企画を主体に公演を行う形で再始動。シアターピースや新作初演等も積極的に取り組む。2019年度音楽クリティック・クラブ賞奨励賞、及び令和元年度大阪文化祭奨励賞受賞。2023年10月、スタンフォード大学（アメリカ/カリフォルニア州）より招聘を受け、初の海外公演を行った。



Photo : Takeru Koroda

### チケット情報

全席自由

一般：4,000円（当日4,500円）

学生：1,000円（当日1,500円）

発売中

主催：アンサンブル九条山

共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

# オランダ・日本 共同インテグレイテッドダンス公演 『UNUM』 & 『lungo』

日程：5月27日(火) 19:30

会場：ノースホール

共催

舞踊

イントロダンスと LAND FES、そして貞松・浜田バレエ団による国際コラボレーション  
多世代インテグレイテッドダンス作品「UNUM」を「lungo」とのダブルビルで上演！



Photo by 木村雅章



Photo by 木村雅章

大阪・関西万博のオランダ王国の公式プログラムの一つとして、オランダを代表するダンスカンパニー・イントロダンスと山海塾の舞踏手としても活躍する松岡大が主催するLAND FES、神戸拠点のバレエ団 貞松・浜田バレエ団とのコラボレーションによる新作をロームシアター京都にて上演します。障がい者や高齢者と共にダンスを創るインクルーシブな活動に取り組んできたイントロダンスの振付家 エイドリアン・ルテインと日本国内で同様の活動を推進してきた松岡大による共同演出・振付のもと、オランダと日本のダンサーが国境を超えてコラボレートする多世代インテグレイテッドダンス公演です。

## 「UNUM (ウヌム)」

演出・振付：エイドリアン・ルテイン、松岡 大

ドラマトゥルク：呉宮百合香

音楽：武田直之

ダンサー：Angelica Villalon(INTRODANS)、Reynaldo Villalon、Mark van Drunick(INTRODANS)、Anne van Drunick、かんばらけんた、かんばらしおり、後藤俊星(貞松・浜田バレエ団)、後藤りさ、森田かずよ、森田登代子、山本小海(貞松・浜田バレエ団)、山本直樹

## 「lungo (ユンゴ)」

演出・振付：エイドリアン・ルテイン

ダンサー：泉葉子、片山夏波、川合ロン、小磯松美、小暮香帆、坂田尚也、野村雅弘、森田かずよ

## プロフィール

### イントロダンス | INTRODANS

1971年に設立。オランダを代表する3大ダンスカンパニーの一つとして知られている。バレエのレパートリーから、先鋭の振付家によるコンテンポラリーダンス、インクルーシブダンスまで、幅広い作品を上演。

### NPO 法人 LAND FES

2011年に設立。障がいの有無を越えて共にダンスを創る「スクランブル・ダンスプロジェクト」や海外のインクルーシブダンスを紹介する「TOKYO ACCESSIBLE DANCE」など、パフォーマンスを通して共生社会を推進する活動を展開している。

### 一般社団法人 貞松・浜田バレエ団

#### SADAMATSU-HAMADA BALLET COMPANY

1965年3月、貞松融を団長、浜田蓉子を副団長に兵庫県神戸市で創設。創設当初より、クラシックバレエを基本に、クラシック作品と創作作品を活動の両輪に公演活動を行う。文化庁芸術祭大賞、神戸市政功労者表彰など数々の賞を受賞。

主催：NPO 法人 LAND FES、一般社団法人貞松・浜田バレエ団、イントロダンス、オランダ王国大使館

共催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

## チケット情報

全席自由

一般：4,000円

U30(30歳以下)・障がい者・同伴者：2,000円

発売中

## 関連企画

### エイドリアン・ルテインによるダンスワークショップ

日時：5月28日(水) 19:00～20:30

会場：ロームシアター京都 ノースホール

料金：2,000円/1名

欧州で長年に渡り、多様な人々と共にダンスを創る活動に取り組んできた振付家によるインクルーシブダンスの手法を、是非この機会にご体験ください。

☆ダンス経験・障がいの有無不問

# サファリ・P 第11回公演 『悪童日記』

日程：6月6日(金) 19:00、6月7日(土) 13:00、6月8日(日) 13:00  
会場：ノースホール

共催

演劇



双子の日記が炙り出す、人間の本质。

“呼吸”をキーワードに再創作されるサファリ・Pの代表作。



撮影：松本成弘

既成戯曲や小説の物語に底流する作者の生き立ちや時代背景を紐解き、パフォーマーの身体と最小限の舞台美術、最小限のテキストから、舞台作品へと昇華することに定評のある「サファリ・P」が、ロームシアター京都に初登場します。

『悪童日記』は、2017年の初演以降、何度も上演を重ねてきた、「サファリ・P」の代表作のひとつです。5つの無機質な台と5人の俳優、抑揚を排除した言葉で、小説で描かれる双子の日記の「文体」そのものの舞台化を試み、上演のたびに話題を呼んでいます。2025年版では、新たなキャストと新演出により、物語が持つ無機質な印象を、小説同様に徐々に覆し、作者アゴタ・クリストフの体験した戦時下の片田舎の風景と、それによって浮かび上がる人間の本质をリアルに立ち上げます。

原作：アゴタ・クリストフ『悪童日記』（ハヤカワ文庫）堀茂樹訳  
脚本・演出：山口茜  
出演：芦谷康介、佐々木ヤス子、達矢(以上サファリ・P)  
辻本佳、森 裕子 (Monochrome Circus)

## プロフィール

### 山口茜 | Akane Yamaguchi

劇作家、演出家。合同会社 stamp 代表社員。2003年、第10回 OMS 戯曲賞大賞を受賞。2007年、若手演出家コンクール 2006 最優秀賞を受賞。2007年から2009年までの2年間、文化庁新進芸術家海外留学制度研修員としてヘルシンキ（フィンランド）に滞在。帰国後、活動を再開する。2012年文化庁芸術祭新人賞を受賞。2013年、龍谷奨励賞を受賞。2015年、利賀演劇人コンクール優秀演出家賞一席受賞。セゾン文化財団シニアフェロー（2016年度～2018年度）、龍谷大学非常勤講師（2010年～）、メニコンシアター Aoi 芸術監督（2023年～）。

### サファリ・P | Safari・P

2015年7月、利賀演劇人コンクール 2015にて『財産没収』（作：テネシー・ウィリアムズ）を上演。優秀演出家賞一席を受賞。メンバーは芦谷康介、達矢、佐々木ヤス子、池辺茜、森永恭代、山口茜の6名（2025年3月現在）。パフォーマー（俳優・ダンサー）・技術スタッフ（照明・音響）・演出部（演出家・ドラマトゥルク）からなる劇団。パフォーマーに俳優とダンサーが混在していることを活かし、身体と最小限の舞台美術、最小限のテキストのみを使用し、文字だけで立ち上がっていた原作世界の、意外な、しかし間違いなくそこにある要素を立ち上げることを得意とする。2019年6月、FemArt Festival 7thに招待され、ODA Theatre（コソボ共和国プリシュティナ）にて『悪童日記』を上演。2019年10月、瀬戸内国際芸術祭秋会期にて『悪童日記』を上演。

主催：合同会社 stamp  
共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

## チケット情報

全席自由

前売

一般早割：4,000円（4月30日までに予約した方が対象）

一般：4,500円、U18：1,000円

障がいのある方とその介助者：2,500円（同伴の介助者一名無料）

※要証明書

当日

一般：5,500円、U18：2,000円

発売中

# 『燃える花嫁』 作：ピンク地底人3号 演出：生田みゆき

日時：6月20日(金) 19:00、6月21日(土) 14:00

会場：ノースホール

主催 演劇 

## 「共生」と「排除」に揺れる国の未来に一石を投じる問題作



写真左上より、みのすけ、松本紀保、清水明彦、鬼頭典子  
左下より、平体まひろ、森尾舞、西山聖了、山下瑛司

作：ピンク地底人3号

演出：生田みゆき

出演：みのすけ、松本紀保、清水明彦、鬼頭典子、平体まひろ、森尾舞、西山聖了、山下瑛司

本作の舞台は架空であるが、埼玉県川口市や蕨市に暮らす「クルド」人コミュニティを取材して創られている。トルコ、イラク、シリア、イランなどの山岳地帯に暮らす国を持たない民族がクルドの人たちで、現在2000人以上が川口市周辺に住んでいる。日本に暮らすため、一生懸命に日本語を学び生活している彼らだが、先行きの不安は消えない。民族コミュニティ内の問題が、彼らが住む他民族コミュニティにすぐに影響を及ぼす「事件」は各地域で起きている。こうした事が「排除」「ヘイト」に直結する危うい社会で、どう「共生」していけるのか。

### プロフィール

#### ピンク地底人3号 | Pink Chiteijin No.3

劇作家 / 演出家 同志社大学文学部文化学科美学芸術学卒業。生者と死者の境界がボーダレスな、苛烈な会話劇を得意とする。Stage of the year 2022 ステージびあ審査員特別受賞。セゾン文化財団セゾン・フェローII (2023-2026) 助成。近年の作品に 2022 年 KAVC プロデュース公演手話裁判劇『テロ』(第1回関西えんげき大賞最優秀作品賞 / 観客投票ベストワン賞 ダブル受賞)。



©chanmi

#### 生田みゆき | Miyuki Ikuta

演出家。文学座所属、演劇ユニット「理性的な変人たち」メンバー。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。名取事務所公演でパレスチナ演劇上演シリーズ 2023 年 2 月『占領の囚人たち』を演出したほか、近年の演出作に『建築家とアッシリア皇帝』『海戦 2023』『アナトミー・オブ・ア・スーサイドー死と生をめぐる重層曲』など。『占領の囚人たち』『海戦 2023』『屠殺人ブッチャー』にて第 31 回読売演劇大賞優秀演出家賞、『占領の囚人たち』ほかで芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。



撮影：日下諭

### < あらすじ >

架空の日本。多くの難民が暮らす第 4 地区で、在日外国人のキリノユスケは解体業を営みながら、姉のカナエ、娘のアカリと慎ましやかに暮らしていた。ある日、彼らの事務所に、第 13 地区から出稼ぎに来ていたミドリカワマキというトラックドライバーが現れる。日本人でないという理由で進学もままならないアカリは自由に生きるマキに心惹かれる。一方、入国管理局が難民受け入れの制限を始めたことで、在日外国人と日本人との間で激しい衝突が起り始める……

### チケット情報

全席自由

一般：3,500 円 / 会員特別価格 3,200 円

ユース (25 歳以下)：2,000 円、20 歳以下：1,000 円

4 月 13 日 (日) 一般発売 / 4 月 6 日 (日) 会員先行発売

### 関連企画

“いま”を考えるトークシリーズ

P32 参照

主催：ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市  
制作：名取事務所  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業 (劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会

## ロームシアター京都×京都芸術センター U35 創造支援プログラム“KIPPU”

会場：ノースホール

主催

演劇

若手アーティストの発掘と育成を目的に、ロームシアター京都と京都芸術センターが協働して行う創作支援プログラム“KIPPU”。8年目となる今回、3団体が登場します。

① 幻灯劇場 9月5日(金)～9月7日(日)

② 餓鬼の断食 12月5日(金)～12月7日(日)

③ トレモロ 2026年3月13日(金)～3月15日(日)

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、  
京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、京都市  
※上記は企画の主催クレジットです。

## 過去の参加団体・アーティスト

2018年度 ブルーエゴナク、安住の地、akakilike  
2019年度 オル太、お寿司  
2020年度 中川裕貴、シラカン、スペースノットブランク  
2021年度 福井裕孝、敷地理  
2022年度 空間現代、努力クラブ  
2023年度 劇団不労社、PANCHETTA  
2024年度 プロテアトル、Dr.Holiday Laboratory

## ロームシアター京都×京都芸術センター U35 創造支援プログラム“KIPPU”

## 幻灯劇場 新作

日程：9月5日(金)～9月7日(日) 開演時間未定

会場：ノースホール

共催

演劇



「美しいものは崩れやすく、崩れやすいものは美しいのかもしれない」



『Play is Pray』

「祈り」と「遊び」をテーマに創作をする演劇集団「幻灯劇場」。個々の持つ切実な「祈り」を、言葉や身体を駆使した「遊び」によって、視覚的・聴覚的にも楽しめるエンターテインメントへと昇華することを試みた作品を発表しています。

今回、「美しい足跡」（ドヴォルザーク「謝肉祭」より）、「夜、出しゃばる悲哀」（ドビュッシー交響詩「海」より）、「散歩する星」（マーラー「亡き子をしのぶ歌」より）の3つの楽曲から生まれた小説を下敷きに、音楽から小説へ、そして小説からフィジカルシアター/パフォーマンスへと表現手法をうつし、「幻灯劇場」によるフィジカルシアター/パフォーマンスの新作舞台を立ち上げます。

原作：掌編小説「美しい足跡」豊中市立文化芸術センター 2024 年度委嘱作品（センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.30「美しい足跡」）

原作・脚本・演出：藤井颯太郎

ムーブメントデザイン：本城祐哉

## プロフィール

## 幻灯劇場 | Gento-Gekijo

2013年設立。劇作家や映像作家、俳優、ダンサー、写真家など様々な作家が集まり演劇をつくる集団。旗揚げ公演『ミルユメコリオ』でせんだい短編戯曲賞を最年少受賞。文化庁文化交流事業として『56db』を製作、ニヶ国五都市で上演するなど国内外で挑戦的な作品を発表し続けている。

## チケット情報

全席自由

一般：4,000円 U30：3,500円 学生：2,500円

応援チケット：10,000円

当日一律：4,500円

(U30・学生チケットは要身分証)

6月下旬発売

主催：幻灯劇場

共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、  
京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、  
京都市

ロームシアター京都×京都芸術センター U35 創造支援プログラム “KIPPU”

## 餓鬼の断食『DOGHOUSE』

日程：12月5日(金)～12月7日(日) 開演時間未定

会場：ノースホール

共催

演劇



“すくう”って、救済じゃなくて、掬い上げることちゃうん？しんどいか。



『Fusion, (フュージョン)』撮影：松本尚大

「人々の営み“のみ”を描くことによって、現代社会を映し出す」をテーマに創作してきた「餓鬼の断食」。若い世代が日常生活で用いるスラングを含めた高速の関西弁でまくし立てる会話劇に定評があります。今作の舞台は“限界集落の寺院”。寺院を営む一家とそこに集う様々なバックボーンを抱えた人々のもとに、ひとつの資本が参入してきて…。タイトルの『DOG HOUSE』は、まずいことをして家を追い出され犬小屋の中で小さくなっていくさまを表したスラング「in the doghouse」（困った状況、面目を失うという意味）から。現代社会における“信仰”そのものが、ある種の「DOG HOUSE」に陥っていると捉え、現代における“すくい”とは何なのかに真正面から切り込みます。

## プロフィール

## 餓鬼の断食 | Gaki no danjiki

2021年に川村智基により旗揚げ。関西弁のスラングを多用し、現代社会の構造を若者らの会話で丁寧に描き出す戯曲と、徹底的な観察に基づいた戯画的かつ肉感のある身体を生み出す演出手法を得意とする。関西演劇祭2023 ベスト演出賞など受賞。

主催：餓鬼の断食

共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、  
京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、  
京都市



脚本・演出：川村智基（餓鬼の断食）  
プロデューサー：堀綾花（餓鬼の断食）

## チケット情報

全席自由  
料金未定  
9月8日(月)一般発売

ロームシアター京都×京都芸術センター U35 創造支援プログラム “KIPPU”

## トレモロ『コリオレイナス(仮)』

日程：2026年3月13日(金) 19:30、3月14日(土) 14:00 / 18:00、3月15日(日) 14:00

会場：ノースホール

共催

演劇



トレモロが描くシェイクスピアの名作



『新ハムレット』撮影：井上嘉和

「トレモロ」は、名作古典から同世代作家の新作までを扱い、作品の本質と現代社会の問題との類似点を見出し、演劇作品として表現することで観客の思考の端緒となることを目指し、作品創作と日本各地での上演を行っています。

今回、数々のシェイクスピア戯曲に取り組んできた演出家・早坂彩が、ローマ史劇であり、悲劇にも分類される歴史劇『コリオレイナス』の上演に挑戦します。

紀元前5世紀、共和政下の都市国家ローマ。執政官に就任した将軍コリオレイナスは、「腐敗したローマの指導者層の代表」なのか、もしくは「機能不全を起こした民主主義と戦う強力なリーダー」なのか。母、妻、同僚、被支配者、宿敵、様々な立場から捉えられる多様なコリオレイナスの姿から、同じ物事に対して相反する捉え方をし、異なる思想を持ちながらも隣り合わせに生きている、ローマの時代から変わらない人のありようを見つめ、現代の日本社会を照射します。

## プロフィール

## トレモロ | tremolo

2010年結成。2015年、利賀演劇人コンクール2015『イワーノフ』にて優秀演出家賞・観客賞受賞。

「第一期 身体と音楽のトレモロ」「第二期 台詞と空間演出のトレモロ」を経て、この先の第三期では、「自由に、開いて、場作りを進めるトレモロ」をテーマに、これまでの創作スタイルを融合した、より強度の高い作品作りを目指す。



作：W・シェイクスピア  
演出：早坂彩 照明：松本永 音響：森永恭代  
舞台美術：中村友美

## チケット情報

全席自由  
一般：4,000円 応援：6,000円 U25：2,500円  
12月中旬発売

主催：トレモロ  
共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、  
京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、京都市

# 小池博史ブリッジプロジェクト -ODYSSEY

## 『HINOTORI 火の鳥・山の神篇』

日程：9月13日(土) 12:30/17:30  
会場：サウスホール

共催

演劇



日本、ポーランド、マレーシア、ブラジル、インドネシアのアーティストたちとともに、混沌から再生への物語を紡ぐ



Photo by 許方子



Photo by João Caldas Fº

本作品は、マルチカルチュラルな背景を持つ国々のアーティストたちと共に、「混沌」から「疑心暗鬼」「戦争」を経て「再生」に至る物語の最終章です。2022年にポーランドで「KOSMOS」を、2023年度にマレーシアで「Soul of ODYSSEY」を、そして2024年度にブラジルで制作した「Saudade in the MIRAGE」を基盤に据えつつ書き直し、「再生」の物語を加えながら、全面的に演出を変えたのが「HINOTORI 火の鳥・山の神篇／火の鳥・海の神篇」です。京都公演では、その前半部に当たる作品「火の鳥・山の神篇」を上演します。日本、ポーランド、マレーシア、ブラジル、インドネシアの演者や音楽家、映像作家、美術家、衣装家と共に、世界を見つめ直し、未来に向けた「調和化の重要性」をその手法によって伝えます。

作・演出・脚本・構成・振付：小池博史

出演：リー・スイキョン（マレーシア／舞踊家、俳優）、シルビア・H. レヴァンドスカ（ポーランド／舞踊家、俳優）、マレク・グルジンスキ（ポーランド／俳優）、ダナン・パムンカス（インドネシア／ジャワ舞踊家）、ジョアオ・ギサンデ（ブラジル／俳優）、今井尋也（能役者、小鼓演奏家）、櫻井麻樹（俳優）、池野拓哉（舞踊家、俳優）、奥澤秀人（サーカスパフォーマー）、bale（俳優、舞踊家）、西川吉弥（日本舞踊家）、津山舞花（舞踊家、俳優）、森憩斗（俳優、舞踊家）、岡部莉奈（一輪車アーティスト）  
演奏・作曲：グレゴリー・スリパー（ブラジル／バイオリン、ピリンバウ、パーカッション）、太田豊（横笛、サクソ）

### プロフィール

#### 小池博史ブリッジプロジェクト -ODYSSEY

##### Hiroshi Koike Bridge Project -ODYSSEY

2012年に空間演出家・元パパ・タラフマラ主宰の小池博史が立ち上げ。創造力を核として、創作、教育、発信を三本柱に据え、連携を生み出そうとするプロジェクト。2018年シアター・オリムピクス（インド）にて上演した「注文の多い料理店」がベスト・パフォーマンス賞受賞。2023年2月ポーランドにて上演した「KOSMOS コスモス」がポーランドのメディアが発表する「現代演劇年間トップテン」受賞。

### チケット情報

全席指定

料金未定

7月21日(月・祝) 一般発売

主催：株式会社サイ、特定非営利活動法人ブリッジフォーシアーツアンドエデュケーション

共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

協力：グロトフスキ研究所（ポーランド）、クアラルンプール・シェイクスピアプレイヤーズ（マレーシア）、社団法人セスキ（ブラジル）、ペリプロプロダクションズ（ブラジル）

助成：文化芸術活動基盤強化基金（クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業）| 独立行政法人日本芸術文化振興会

日本万国博覧会記念基金事業助成 - 複数年

公益財団法人セゾン文化財団

# KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2025

日程：10月4日(土)～10月26日(日)

会場：ロームシアター京都、京都芸術センター、京都芸術劇場 春秋座、THEATRE E9 KYOTO ほか

主催

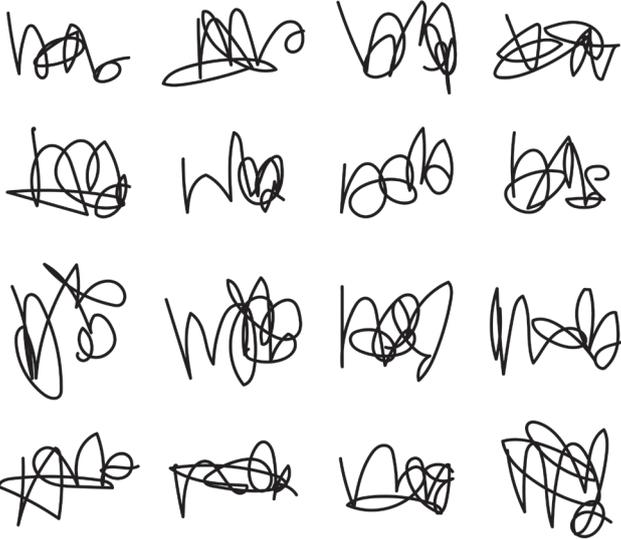
演劇

舞踊

美術・映像



## 京都発。実験的な表現で社会とつながる舞台芸術祭。



### KYOTO EXPERIMENT 2025

© 小池アイ子

2010年より開催している京都発の舞台芸術祭。

「EXPERIMENT（エクスペリメント）＝実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を、新しい形の対話でつなぐことを目指しています。

世界各地の実験的な舞台芸術を楽しむプログラム「Shows」、フェスティバルが根ざす関西地域をアーティストの視点で探究し、未来の創作基盤につなげていくリサーチプログラム「Kansai Studies」、トークやワークショップなど鑑賞とは異なるフォーマットで、舞台芸術に限らず先端的な思考に触れる「Super Knowledge for the Future [SKF]」の3つのプログラムで展開します。

いま注目すべき国内外のアーティストを紹介すると同時に、先駆的かつ実験的な作品の上演を通して、舞台芸術の新たな可能性をひらいていきます。

16回目となるフェスティバルに、ぜひご注目ください！

## チケット情報

席種・料金・発売日未定

◎車椅子でお越しのお客様は、各料金500円引き(介助者1名無料)です。

主催：京都国際舞台芸術祭実行委員会 [京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、京都芸術大学 舞台芸術研究センター、THEATRE E9 KYOTO（一般社団法人アーツシード京都）、一般社団法人 KYOTO EXPERIMENT

## ゆうめい 10 周年全国ツアー公演

### 『養生』

日程：11月1日(土)、11月2日(日)、11月3日(月・祝) 開演時間未定  
会場：ノースホール

共催

演劇



岸田國士戯曲賞作家による読売演劇大賞優秀演出家賞受賞、ゆうめい代表作



© 佐々木啓太



© 佐々木啓太

4 日間での公演にもかかわらず大きな反響を呼び、第 32 回読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞した話題作『養生』（下北沢 ザ・スズナリにて 2024 年初演）。原体験をもとに百貨店の夜勤現場を舞台に描いた本作は、時間と空間が交錯しながら、選択肢の少ない現代を生きる人々の姿を鋭くもユーモラスに映し出し、劇場をあとにする観客へ深い余韻を残しました。第 68 回岸田國士戯曲賞を受賞、読売演劇大賞でも空間演出が絶賛された池田亮が、ゆうめい結成 10 周年の集大成として、戯曲・演出・美術をさらに進化させた新たな代表作『養生』をカンパニー初となる全国ツアーで上演します。

出演：本橋龍（ウンゲツイーファ）、黒澤多生（青年団）、丙次（ゆうめい）

作・演出・美術：池田亮（ゆうめい）

照明デザイン：阿部将之（LICHT-ER）

音響デザイン：今里愛（Sugar Sound）

舞台監督：中西隆雄、三津田なつみ

演出助手：小松大二郎（ゆうめい）

宣伝美術：りょこ（ゆうめい）

制作：星野花菜里（コンプソンス）、高橋戦車（劇団鹿殺し・オフィス鹿）

#### プロフィール

##### ゆうめい | yumei

舞台・映像・美術・文章を発表する団体として、2015 年に設立。

個々人の原体験を掘り下げ、深い感覚から抽出される独特かつ多層的な俯瞰性をもたらす創造と空間演出で現代を描いている。現実と劇世界を往来する作風が特徴。当事者の実父が出演する『姿』が話題となり、これまでの創造を顧みた『ハートランド』『養生』で国内の高い評価を得た。

ゆうめいの由来は、「夕と明」「幽明」生命の暗くなることから明るくなるまでのこと、「幽冥」死後どうになってしまうのかということなど。由来のように「別の本意も存在している」と、物事への多様な視点を追求している。

##### 池田 亮 | Ryo Ikeda

1992 年、埼玉県生まれ。13 歳から原体験をもとにした小説を匿名でネット上に発表し続けた経験を機に、ルポルタージュやメディア脚本等の様々な媒体で執筆を担う。墓石や玩具など、人の心が生み出す物体にも傾倒し、立体造形や空間について学ぶ。東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。2015 年「ゆうめい」を結成。全作品の脚本・演出、多くの美術を手掛ける。2024 年『ハートランド』で第 68 回岸田國士戯曲賞を受賞。2025 年『養生』で第 32 回読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞。造形作家としても活動し、原案・カプセルトイの原型を手がけた『クリスタルハンドルの水栓リング』が全国流通。



#### < あらすじ >

「もどらない。」

美大生・橋本と、大学生・阿部はデパートの内装作業を行う夜勤バイトで出会い、意気投合した。当たりがきつく家庭内不和の渦中にある正社員に陰で不満を漏らしながら「卒業したら、こうはならない」と笑い合う。数年後、二人はその夜勤の正社員になっていた。阿部は家庭を持ち、新入社員・清水を教育する。作家を目指していた橋本は、著名作家となった同期の個展が百貨店の人気ギャラリーで開催することを知り、その広告の設営を担う。喪失した過去と現在とが対峙をしつづける、夕方から明け方への話。

#### チケット情報

8 月先行発売予定

主催：合同会社ゆうめい

共催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)



# ダミアン・ジャレ × 名和晃平 『Planet[wanderer]』

日程：11月8日(土) 19:00、11月9日(日) 15:00  
会場：サウスホール

主催

舞踊

美術



## 京都発の彫刻家 名和晃平と、鬼才の振付家 ダミアン・ジャレによるコラボレーション



© Rahi Rezvani

振付：ダミアン・ジャレ  
舞台美術：名和晃平  
音楽：TIM HECKER  
照明：吉本有輝子  
衣装：SRULI RECHT  
サウンド・デザイン・コラボレーション：XAVIER JACQUOT  
振付アシスタント：ALEXANDRA HOÀNG GILBERT  
Outside Eye：CATALINA NAVARRETE HERNÁNDEZ

出演：  
SHAWN AHERN  
AIMILIOS ARAPOGLOU  
KARIMA EL AMRANI  
FRANCESCO FERRARI  
VINSON FRALEY  
CHRISTINA GUIEB  
ASTRID SWEENEY  
湯浅永麻

### プロフィール

#### ダミアン・ジャレ | Damien Jalet

振付家、ダンサー。振付家をはじめ、彫刻家やミュージシャン、映画監督、デザイナーらと作品の共同制作をするほか、オペラや音楽ビデオの振付を手がけ、その活動は多岐にわたる。名和晃平との協働作品として、『VESSEL』(2016年)、映像作品『Mist』(2021年)、『Planet [wanderer]』(2021年9月初演)がある。



©Rahi Rezvani

#### 名和晃平 | Kohei Nawa

彫刻家。1975年大阪府生まれ。京都を拠点に活動。2003年京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程彫刻専攻修了。京都芸術大学教授。

2011年東京都現代美術館で個展「名和晃平 - シンセシス」開催。2017年、ポンピドゥー・センター・メッセで開催された「ジャパノラマ」展に参加。2018年7月から2019年2月にかけて、パリのルーヴル美術館ピラミッドにて、日仏共同プロジェクト「ジャポニスム 2018」公式企画のひとつとして、彫刻作品《Throne》が展示された。



『Planet [wanderer]』は、2016年秋にロームシアター京都で世界初演を迎えた『VESSEL』に続く作品です。『VESSEL』が日本最古の書物『古事記』の二つの世界、すなわち「黄泉の国（死者の世界）」と「高天原（神の住処）」を描いたのに対し、『Planet [wanderer]』は三つ目の世界である「葦原中国」— 私たちが生きる世界— を舞台にしています。本作では、人間が葦のように力と脆弱さ、調和と生存、破壊と進化の間に揺れ動く様子を表現します。副題「wanderer」は、「Planet」の語源となるギリシャ語が持つ「さまようもの」という意味と重なります。生者と死者の境界線で、人間の身体と宇宙世界の構成要素や重力の不可分な関係性を表現し、そこに日本庭園（石庭）の現代的解釈などが混ざり合うという、日本の彫刻家と欧州の振付家の共同作業ならではの唯一無二の世界観を提示します。

本作は2020年・2022年にロームシアター京都にて上演予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期となり、このたび上演するものです。

### チケット情報

全席指定

一般（一階席）：7,000円 / 会員特別価格 6,300円

一般（二階席）：6,000円 / 会員特別価格 5,400円

ユース（25歳以下）：3,000円

18歳以下：1,000円

7月11日（金）一般発売 / 7月4日（金）会員先行発売

<他地域での公演>

東京公演 11月1日(土) ~ 3日(月・祝) 東京芸術劇場 プレイハウス

再製作（2023年）：ブルターニュ国立劇場

製作（2021年）：パリ国立シヤイヨー劇場

共同製作：ロームシアター京都、東京芸術劇場、パリ国立シヤイヨー劇場（フランス）、シャルルロワ・ダンス（ベルギー）、Sandwich Inc.（日本）、ブルターニュ国立劇場（フランス）、ザンクト・ベルテン祝祭劇場（オーストリア）、ルーアン・ノルマンディー・オペラ座（フランス）、ハンブルグ・カンブナーゲル劇場（ドイツ）、ジュネーブ大劇場バレエ（スイス）、ナーゲルフス・スキア・プロダクション（ノルウェー）

特別協力：株式会社グランマール、株式会社マツシマホールディングス

感謝：Théo Casciani、Prabda Yoon、Didier Deschamps、Fabienne Aucant FEDORA -ヴァンクリーフ&アーベルバレエ賞ノミネート（2020年）

欧州連合（EU）クリエイティブ・ヨーロッパ・プログラムによる共同出資  
協力：京都芸術大学 Ultra\_Sandwich#14 #15 #16 #17、京都大学 竹中研究室

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市共同招聘：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）  
独立行政法人日本芸術文化振興会

# ヴッパタール舞踊団 ピナ・バウシュ 『Sweet Mambo』

日程：11月21日(金) 19:00、11月22日(土) 15:00  
会場：メインホール

主催 舞踊

ピナ・バウシュ最晩年の作品を、最愛のダンサーたちが踊り継ぐ！



©Karl-Heinz Krauskopf



©Karl-Heinz Krauskopf

ダンスと演劇が共生する〈タンツテアター〉の手法による、斬新かつ衝撃的な話題作を次々と発表し、20世紀のダンス・演劇界を変えた振付家、ピナ・バウシュ。2007年には、舞踊と演劇の境界線を打破し、舞台芸術の新たな方向性を示した功績を讃えられ、国際賞である「京都賞」を受賞しました。

2017年の『カーネーション - NELKEN』以来8年振りの来日となるヴッパタール舞踊団が今回お届けするのは、2009年に急逝したバウシュによる最晩年の作品『Sweet Mambo』。バウシュと共に年月を過ごし、年齢や経験を重ねた初演時のダンサーが再びステージに集います。

演出・振付：ピナ・バウシュ [ 第23回 (2007) 京都賞 思想・芸術部門受賞 ]

出演：ヴッパタール舞踊団

世界初演：2008年5月30日 シャウシュピールハウス (ヴッパタール・ドイツ)

## プロフィール

### ピナ・バウシュ | Pina Bausch



©Wilfried Krüger

1940年ドイツ生まれ。 Folklore ヴァンク 芸術学校でクラフト・ヨースに舞踊を学んだ後、1968年に処女作『フラグメント』を発表。1971年ヴッパタール・バレエ団に振付家として招かれ、1973年芸術監督に就任。同団の名称を「ヴッパタール舞踊団 (タンツテアター・ヴッパタール)」に改称し、ダンスと演劇との既成の概念を超えた斬新かつ衝撃的な話題作を次々に発表する。代表作『春の祭典』、『カフェ・ミューラー』、『コンタクトホーフ』など、舞踊表現の多様性、可能性であらゆる世代の振付家に影響を与えた。「舞踊と演劇の境界線を打破し、舞台芸術の新たな方向性を示した振付家」として第23回 (2007) 京都賞 思想・芸術部門を受賞。2009年没。

### ヴッパタール舞踊団

Tanztheater Wuppertal Pina Bausch

各国のダンサーで構成されるヴッパタール舞踊団は1973年にピナ・バウシュが芸術監督に就任後、ダンスと演劇が共生する「タンツテアター」により世界に広く知られ、数々の国や都市と数多くの国際共同製作を行うなど、舞台芸術界に多大な影響をあたえた。ピナ・バウシュ逝去後も舞踊団は遺志を継ぎ精力的に活動を続け、新たな作品を創作・上演している。1986年初来日公演ツアー『コンタクトホーフ』に続き、『カーネーション Nelken』、『山の上で叫び声が聞こえた』を京都会館第2ホールで上演。『Sweet Mambo』は32年ぶりの京都公演となる。

< 他地域での公演 >

埼玉公演 11月27日(木)～30日(日) 彩の国さいたま芸術劇場

主催：ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

特別協賛：公益財団法人福盛財団

共同招聘：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 (彩の国さいたま芸術劇場)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業 (劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

## チケット情報

全席指定

S席：12,000円/会員特別価格10,800円

A席：8,000円/会員特別価格7,200円

S席25歳以下：5,000円 18歳以下：無料

※クラウド・ゲイト・ダンスシアター (雲門舞集)『WAVES』とのセット券あり

7月12日(土)一般発売 / 7月5日(土)会員先行発売



# クラウド・ゲイト・ダンスシアター（雲門舞集） 『WAVES』

日程：12月17日(水) 19:00  
会場：メインホール

主催

舞踊

美術・映像



## クラウド・ゲイト・ダンスシアター（雲門舞集）<sup>チェンゾンロン</sup> 鄭宗龍 × 真鍋大度 ダンスとテクノロジーの交差点



Photo by LEE Chia-yeh



Photo by LIU Chen-hsiang

台湾を代表するコンテンポラリーダンスカンパニー、クラウド・ゲイト・ダンスシアター（雲門舞集）が、最先端の技術とダンスの融合を目指した革新的な作品『WAVES』を上演します。中国語圏で最初のコンテンポラリーダンスカンパニーとして創設され、50年以上の歴史を持つクラウド・ゲイト・ダンスシアターは、2020年に鄭宗龍が芸術監督に就任し、革新的な舞台を次々に発表しています。この『WAVES』は、アーティスト、コンポーザー、プログラマーの真鍋大度とのコラボレーションによって生まれた作品です。

作品では、波の概念を身体から発せられる動的エネルギーとして探求し、最先端の技術により、観る者を新たな身体感覚の世界へと誘います。2023年の初演以降、2024年のヴェネチア・ビエンナーレ（ダンス部門）でも高い評価を得ている本作をどうぞお見逃しなく。

振付・コンセプト：鄭宗龍（チェン・ゾンロン）  
コンセプト・ビジュアル・音楽・プログラム：真鍋大度

### プロフィール

#### クラウド・ゲイト・ダンスシアター（雲門舞集） | Cloud Gate Dance Theatre of Taiwan

1973年、振付家の林懷民（リン・フアイミン）により、中国語圏で最初のコンテンポラリーダンスカンパニーとして設立。2020年、鄭宗龍（チェン・ゾンロン）がリンの後を継いでアーティストック・ディレクターに就任し、伝統に根ざした彼の創造的な作品と、デジタルとグローバル化した世界からの大胆で革新的な視点を融合させた。2023年、クラウド・ゲイト・ダンスシアターは50周年を迎えた。

#### 鄭宗龍（チェン・ゾンロン） | CHENG Tsung-lung

2020年に創設者である林懷民（リン・フアイミン）の後を継ぎ、クラウド・ゲイト・ダンスシアターの芸術監督に就任。国内外で数々の賞を受賞し、世界中のカンパニーとコラボレーションしている。近年の作品には、路上での生活の経験に基づいた作品で、上演回数100回を超える『十三声』（2016年）の他、アイスランドのミュージシャン、シガー・ロス（Sigur Rós）とのコラボレーションによる『Lunar Halo』（2019年）は、Telegraph紙の「Best of 2023 Dance」の1つに選ばれ、「インターネットが蔓延する21世紀を明るく、かつ物悲しく表現した作品」と評された。



Photo by LEE Chia-yeh

#### 真鍋大度 | Daito Manabe

1976年東京生まれの真鍋大度は、音楽家の両親のもと、音楽とプログラミングに親しんで育つ。DJやジャズバンド活動を経て、東京理科大学で学んだ際にXenakisに影響を受け、音楽生成における数学的アプローチの研究を始め、これが後の創作活動の基盤となる。2006年にライゾマティクスを設立。テクノロジーと身体表現の融合を探求し、リオ五輪閉会式のAR演出など革新的なプロジェクトへと発展。坂本龍一、Björk、Nosaj Thing、Squarepusher、Arca等との協働も多数行い、その独創的なAudio Visualパフォーマンスは、Sonar Barcelonaをはじめとする世界各地の国際フェスティバルで発表されている。近年は神経科学者との協働を通じて、培養神経細胞を用いたバイオフィードバックシステムなど、生命と機械を融合する作品を制作。現在はStudio Daito Manabeを主宰し、アート・テクノロジー・サイエンスを横断する表現を追求している。



Photo by Akinori Ito

### チケット情報

全席指定  
一般：5,500円 / 会員特別価格 5,000円  
ユース（25歳以下）：3,000円

18歳以下：無料

※ヴァパターナル舞踊団 / ピナ・バウシュ『Sweet Mambo』とのセット券あり

7月12日（土）一般発売 / 7月5日（土）会員先行発売

#### < 他地域での公演 >

横浜公演 12月13日（土）KAAT 神奈川芸術劇場  
北九州公演 12月21日（日）J:COM北九州芸術劇場

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市共同招聘：ヨコハマダンスコレクション（横浜赤レンガ倉庫1号館）、北九州芸術劇場  
助成：文化庁文化芸術振興補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）  
独立行政法人日本芸術文化振興会  
台湾文化部、台北駐日経済文化代表処台湾文化センター



# ニットキャップシアター 『喫茶とキネマ(仮)』

日程：2026年2月  
会場：ノースホール

共催

演劇



「京都物語プロジェクト」の集大成作品。新聞『土曜日』をめぐる、昭和初期の京都を描く。



2025年2月『さらば、象』脚本：ごまのはえ 演出：小原延之 撮影：井上嘉和

脚本：ごまのはえ  
演出：橋本匡市（万博設計）

本作の舞台は戦前の京都の喫茶店です。当時、京都近辺の喫茶店には『土曜日』という新聞が置かれていました。発行者は松竹の大部屋俳優であった斎藤雷太郎で、彼は大陸での戦争が激化する時代に、庶民感覚とユーモアを交え、政府に堂々と物申す内容を発信していました。斎藤雷太郎の活動を中心に、1930年代の時代背景の中で、個々人がどのように繋がり、生活を営んでいたかを描きます。

## 「京都物語プロジェクト」について

一般社団法人毛帽子事務所が表現者と地域のつながりを通じて、地域文化を掘り起こす演劇プロジェクト。2023年から3年計画で取り組んでおり、1～2年目は、ごまのはえらが京都に住む人々にお会いして、暮らしに関する話や昔の写真などを収集。また、お預かりした写真を題材にして、公募による参加者が短編戯曲を創作する「戯曲講座」を開催してきました。

3年目となる2025年度は、できあがった短編戯曲を使ったリーディング公演やワークショップの実施と、3年間の集大成となる本公演『喫茶とキネマ(仮)』の上演を計画しています。

## プロフィール

### ニットキャップシアター | Knit Cap Theater

京都を拠点に活動する劇団。1999年設立。劇作家のごまのはえが書く戯曲を、楽器や仮面などを使ってイメージ豊かに表現する独自の舞台作品を追求している。また、地域の伝承や街の記憶をもとにした作品を多数創作している。『ヒラカタ・ノート』で新・KYOTO演劇大賞(2005年)、『チェーホフも鳥の名前』で第1回関西えんげき大賞優秀作品賞(2023年)、『よりそう人』で第2回関西えんげき大賞優秀作品賞(2024年)を受賞。



## チケット情報

席種・料金・発売日未定

### 一般社団法人毛帽子事務所

劇団「ニットキャップシアター」の制作部が独立する形で、2017年に法人格を取得。現在はニットキャップシアターのメンバーのみならず、脚本家、演出家、振付家、俳優、音楽家、造形美術家、制作者など様々な表現者が所属し、活動の場を広げている。

所属メンバーによる舞台公演の企画・製作に加えて、地域の文化団体と協働して、舞台芸術の創作現場で培われた手法をもとにしたワークショップや、地域に根差した舞台作品の創作・上演などをおこなっている。

参加者と創作の時間や創造の場を共有し、参加者個人の可能性や地域の魅力を発見すること、創造/想像する楽しみや喜びを分かち合うことを大切に活動している。



主催：一般社団法人毛帽子事務所、ニットキャップシアター  
共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

KAAT神奈川芸術劇場プロデュース  
『未練の幽霊と怪物』（新作）日程：2026年3月21日（土）19:00  
3月22日（日）14:00

会場：サウスホール

主催

演劇

ロームシアター京都  
10周年記念事業

能のフォーマットを応用し、ついえた「夢」を幻視する、レクイエムとしての音楽劇



『未練の幽霊と怪物』(2021)より 撮影：高野ユリカ



左より、岡田利規 (©Kikuko Usuyama)、内橋和久 (©Leonid Selemenev)、里アンナ

作・演出：岡田利規  
音楽：内橋和久  
謡手：里アンナ

現代演劇の言葉と身体、空間がおりなす可能性を開拓し、国際的に活躍する演劇作家の岡田利規（チェルフィッチュ主宰）が、現存する世界最古の舞台芸術「能」に触発されて創作する新作音楽劇。

目に見えないもの、霊的な存在がその想いを語る「夢幻能」の構造を借り、現代社会の巨大な構造の中で犠牲となった、膨大な未練の思いを残す存在をシテとして創作し、その姿を鮮やかに表出させる二本立ての公演です。

音楽は前作に引き続き、内橋和久が担当。今回、謡手（うたいて）として鹿児島・奄美大島出身の里アンナが参加。岡田の紡ぎだす繊細な「謡」を、内橋の演奏に合わせて歌いあげます。

## プロフィール

## 岡田利規 | Toshiaki Okada

演劇作家、小説家、演劇カンパニー「チェルフィッチュ」主宰。

その手法における言葉と身体との独特な関係が目目される。2007年『三月の5日間』でブリュッセルの国際舞台芸術祭、クンステン・フェスティバル・デザールに参加。この初の海外公演以降、国内のみならず、アジア・欧州・北米・南米あわせて90都市以上で作品を上演し続けている。

2016年からはドイツの公立劇場レパトリー作品の作・演出も継続的に務める。2020年『掃除機』（ミュンヘン・カンマーシュピール）および2022年『ドーナ(ツ)ツ』（ハンブルク、タリア劇場）でベルリン演劇祭（ドイツ語圏演劇の年間における“注目すべき10作”）に選出。

タイの現代小説をタイの俳優たちと舞台化した『プラーターナー：憑依のポートレート』で第27回読売演劇大賞・選考委員特別賞を受賞。能のナラティブの構造を用いた『未練の幽霊と怪物 挫波／敦賀』（KAAT神奈川芸術劇場）で第72回読売文学賞・戯曲・シナリオ賞及び第25回鶴屋南北賞受賞。2021年には『夕鶴』（全国共同制作オペラ）で歌劇の演出を手がけた。

小説家としては、2007年に『わたしたちに許された特別な時間の終わり』（新潮社）を刊行。第2回大江健三郎賞受賞。2022年に『プロッコリー・レポリューション』（新潮社）で第35回三島由紀夫賞および第64回熊日文学賞を受賞。

## 内橋和久 | Kazuhisa Uchihashi

音楽家。大阪府生まれ、ベルリン在住。ギタリスト、ダクソフォン奏者、コンポーザー、アレンジャー、プロデューサー。レーベル「イノセントレコード」主宰。インプロヴィゼーショントリオ／アルタドステイツ主宰。83年頃から即興を中心とした音楽に取り組み始め、国内外の様々な音楽家と共演。活動の領域は音楽だけにとどまらず、映像作品や演劇などの音楽も手掛ける。

## 里アンナ | Anna Sato

奄美大島出身。3才より祖父に奄美の島唄を習い、その後島唄の大会で数々の賞を受賞。2005年メジャーデビュー。2013年、2015年ミュージカル「レ・ミゼラブル」ファンテーン役、2016年シディ・ラルビ・シェルカウイ「ICON」、2023年大駱駝艦「やちやぼう うたうなぐ」など幅広い舞台に出演。

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市  
企画制作：KAAT 神奈川芸術劇場  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）  
独立行政法人日本芸術文化振興会

## チケット情報

全席指定

一階席：6,000円 / 会員特別価格 5,400円

二階席：4,000円 / 会員特別価格 3,600円

ユース（25歳以下）：3,000円

18歳以下：1,000円

10月19日（日）一般発売 /

10月12日（日）会員先行発売

&lt;他地域での公演&gt;

神奈川公演 2026年2月～3月 KAAT神奈川芸術劇場

兵庫公演 3月7日（土）・8日（日） 兵庫県立芸術文化センター

新潟公演 3月15日（日） りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館

## 加藤訓子 &amp; 中村恩恵 『PSAPPHA(プサッファ)』

日程：2026年3月28日(土) 開演時間未定  
会場：サウスホール

共催

音楽

舞踊



稀代の音楽家と舞踊家がクセナキスの音楽で描く、サッフォーの神話的旋律

IANNIS XENAKIS  
PSAPPHA

音楽史の中で独自の世界を開示した現代音楽の作曲家イアニス・クセナキス（第13回（1997）京都賞受賞）。クセナキスの初期打楽器ソロ作品「PSAPPHA(プサッファ)」に日本屈指のパーカッショニスト加藤訓子と、紫綬褒章を受章し日本のダンス界を牽引する稀代のダンサー中村恩恵が挑みます。古代ギリシアの女性詩人サッフォーから着想を得て2名の女性アーティストが創り上げる、音楽と身体が交錯する世界をお楽しみください。

パーカッション：加藤訓子  
ダンス：中村恩恵作曲：イアニス・クセナキス  
『響・花・間』Hibiki Hana Ma (1969)  
『ルボン a.b.』Rebonds a.b. (1987-89)  
『プサッファ』Psappa (1975)

コミッション&amp;世界初演：高知県立美術館 2024年1月

## プロフィール

## チケット情報

## 加藤訓子 | Kuniko Kato

桐朋学園大学研究科修了、ロッテルダム音楽院を首席で卒業。国際舞台で活躍するパーカッショニスト。英国スコットランドの高音質で知られる世界的レーベル Linn Records（リン・レコーズ）と専属契約する唯一の日本人アーティスト。

席種・料金未定

12月8日(月)一般発売

## 中村恩恵 | Megumi Nakamura

ローザンヌ国際バレエコンクールにてプロフェッショナル賞受賞後渡欧。モンテカルロバレエ団等を経て、イリ・キリアン率いるネザーランド・ダンス・シアターに所属し、世界を牽引する振付作家達の創作に携わる。

主催：特定非営利活動法人芸術文化ワークス  
共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）  
協力：パール楽器製造株式会社、アダムス、ポーズ合同会社

# 劇場の学校

日程：演劇コース | 7月27日(日) ~ 7月31日(木)  
メディア表現コース | 8月1日(金) ~ 8月5日(火)  
ダンスコース | 8月10日(日) ~ 8月14日(木)

場所：ノースホール

主催

演劇

舞踊

美術・映像

2019年度からスタートしたロームシアター京都の「劇場の学校」。7年目は「演劇」「ダンス」「メディア表現」のコースを設け、国内外で活躍するアーティスト等が講師を務めます。各分野の表現について、参加者自身が身体を動かし、考え、ともに「創る」ことに取り組みます。また、コースに関連した多様なオープンクラスも実施します。

## 対象

中学1年生～18歳（高校3年生まで）

性別・国籍・経験不問

## プロフィール

### 和田ながら | Nagara Wada

京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）映像・舞台芸術学科卒業、同大学大学院芸術研究科修士課程修了。2011年2月に自身のユニット「したため」を立ち上げ、京都を拠点に演出家として活動を始める。主な作品に、作家・多和田葉子の初期作を舞台化した『文字移植』、妊娠・出産を未経験者たちが演じる『擬婉』がある。美術、写真、音楽、建築など異なる領域のアーティストとの共同制作も多数。多角的アートスペース・UrBANGUILD ブッキングスタッフ。NPO法人京都舞台芸術協会理事長。



撮影：守屋友樹

### 山城大督 | Daisuke Yamashiro

映像の時間概念を空間やプロジェクトへ応用し、その場でしか体験できない〈時間〉を作品として展開する。2006年よりアーティスト・コレクティブ「Nadegata Instant Party」を結成し、全国各地で作品を発表。また、山口情報芸術センター [YCAM] にてエドゥケーターとして、オリジナルワークショップの開発・実施や、教育普及プログラムを多数プロデュース。第18回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品受賞。Twelve Inc. 代表取締役。



©MIYAKE Kotaro

### 倉田翠 | Midori Kurata

1987年三重県生まれ。京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）映像・舞台芸術学科卒業。3歳よりクラシックバレエ、モダンバレエを始める。京都を中心に、演出家・振付家・ダンサーとして活動。作品ごとに自身や他者と向かい合い、そこに生じる事象を舞台構造を使ってフィクションとして立ち上がらせることで「ダンス」の可能性を探求している。2016年より、倉田翠とテクニカルスタッフのみの団体、akakilike（アカキライク）の主宰を務める。令和5年度京都市芸術新人賞受賞。まつもと市民芸術館 芸術監督（舞踊部門）。



©山田毅

## コース

演劇コース | 和田ながら（演出家／したため主宰）

メディア表現コース | 山城大督（美術家・映像作家）

ダンスコース | 倉田翠（演出家・振付家・ダンサー / akakilike 主宰）

## 受講料

各コース 8,000円

各オープンクラス 500円

受付期間未定

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市助成：文化庁文化芸術振興費補助金  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）  
独立行政法人日本芸術文化振興会

# 舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～

日程：10月～12月（予定）  
会場：パークプラザ3階 会議室 ほか

主催

## 企画プロデュース・マネジメントを学ぶ 未来のプロデューサーへの第一歩



地域の舞台芸術のプロデュース／企画制作領域の専門人材の育成プログラム。強力な講師陣を迎え、舞台芸術プロデュース、舞台制作、マネジメントに関するレクチャーとワークショップを開催します。演劇やダンスをプロデュースする仕事とは、企画はどのようにつくられていくのかなど、社会と舞台芸術をむすぶ制作者たちのシゴトのイロハから、舞台芸術における「プロデュース」のさまざまなカタチを知り、未来の舞台芸術について考える講座です。全8回の通し受講のほか、単発受講（第1回・第8回をのぞく）も可能です。

対象：18才以上の舞台プロデュース、マネジメントに興味を持っている方。舞台制作業務に携わっている方、自身の団体で運営・企画に携わっている方など。経験不問。

受講料：通し受講 6,000 円（初回納入）、単発受講 1,000 円

定員：通し受講 20 名（申込多数の場合は抽選）、単発受講 10 名程度（先着順）

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、KYOTO EXPERIMENT、NPO 法人京都舞台芸術協会、京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、京都市  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）  
独立行政法人日本芸術文化振興会

## “いま”を考えるトークシリーズ

日程：vol.25 5月16日(金)、vol.26・27 調整中

会場：パークプラザ3階 共通ロビー

主催

複雑化し、混迷する現代を「いかに生きるべきか」。多様な角度から同時代の社会を知り、捉え直すためのトピックを挙げ、それにまつわるゲストを招いてともに考えていくトークシリーズです。

vol.25 ピンク地底人3号作、生田みゆき演出『燃える花嫁』連携企画

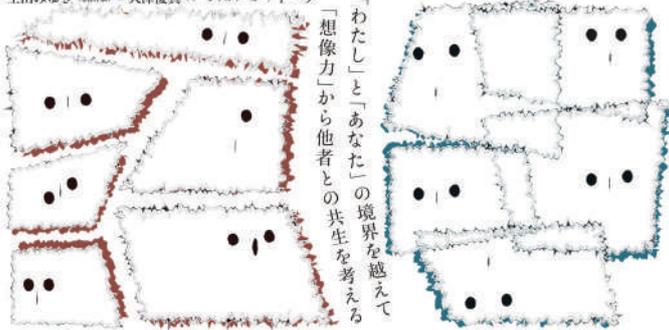
生田みゆき（演出家）×大澤優真（ソーシャルワーカー）トーク

「わたし」と「あなた」の境界を越えて  
「想像力」から他者との共生を考える

日程：5月16日(金) 19:00

会場：パークプラザ3階 共通ロビー

“いま”を考えるトークシリーズ Vol.25 作：ピンク地底人3号、演出：生田みゆき『燃える花嫁』連携企画  
生田みゆき (Miyuki Ikuta) × 大澤優真 (Yuma Osawa) トーク



第25回は、「クルド」人コミュニティに取材し、「共生」と「排除」を問う演劇作品『燃える花嫁』(P18参照)との連携企画。文学座所属、演劇ユニット「理性的な変人たち」メンバーで、社会の切実な事象に演劇の手法で切りこむ演出家・生田みゆき氏と、『生活保護と外国人』(明石書店)などの著書があり、「つくろい東京ファンド」の生活支援スタッフをはじめ、ソーシャルワーカーとして支援活動が続ける大澤優真氏をお迎えします。共に生きる他者にたいしての想像力の在り方について、状況を知るとともに、想像力で他者に接近する演劇のアプローチを重ね、共に考えていきます。

## プロフィール

## 生田みゆき | Miyuki Ikuta

演出家。文学座所属、演劇ユニット「理性的な変人たち」メンバー。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。ドイツ文化センターの文化プログラムの語学奨学金（芸術分野対象）を得てドイツに滞在（2016年夏）。名取事務所公演でパレスチナ演劇上演シリーズ2023年2月『占領の囚人たち』を演出したほか、近年の演出作に『建築家とアッシリア皇帝』『海戦 2023』『アナトミー・オブ・ア・スーサイド 一死と生をめぐる重層曲』など。『占領の囚人たち』『海戦 2023』『屠殺人ブッチャー』にて第31回読売演劇大賞優秀演出家賞、『占領の囚人たち』ほかで芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。



撮影：日下諭

## 大澤優真 | Yuma Osawa

1992年千葉県生まれ。2013年から生活困窮者支援に関わり、近年は特に困窮する難民・仮放免状態にある困窮外国人の支援活動を行う。NPO法人北関東医療相談会・理事、一般社団法人つくろい東京ファンド・生活支援スタッフ、移住者と連帯する全国ネットワーク・運営委員など。社会福祉士。博士（人間福祉）。大学兼任講師。近著に『生活保護と外国人』、『外国人の生存権保障ガイドブック』（共著）など。 <https://yumaosawa.com/>



主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

## リサーチプログラム

日程：通年 ※2026年3月に最終報告会を予定

主催

### 舞台芸術を支える新たな視点のために

舞台芸術に関わる研究・批評分野と実践の場をつなげる若手人材の育成を目的に「リサーチプログラム」を行います。ロームシアター京都では、プログラム策定のためのリサーチ、舞台芸術に関わる研究・批評分野と実践の場をつなげる若手人材の育成を目的に、テーマである「現代における伝統芸能」「子どもと舞台芸術」「舞台芸術のアーカイブ」、そして自由テーマのリサーチャーを募集します。

メンター：吉岡洋（京都芸術大学文明哲学研究所教授）

若林朋子（立教大学大学院社会デザイン研究科特任教授、プロジェクト・コーディネーター）

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）  
独立行政法人日本芸術文化振興会

## ロームシアター京都×京都市ユースサービス協会連携事業 未来のわたし—劇場の仕事—

日程：通年

主催

### 未来の自分を、劇場で見つける！



「未来のわたし」は、ロームシアター京都と京都市東山青少年活動センターが連携し、15歳～30歳の若者に、キャリア形成のきっかけになるよう、劇場の仕事を紹介、体験してもらうプログラムです。実際にロームシアター京都でおこなわれる事業に運営スタッフとして参加していただけます。そのほか、本番鑑賞、劇場見学、また参加者同士の交流の時間を設けます。

このプログラムを通して、劇場にとどまらず社会で働く「未来のわたしの姿」のイメージを膨らませてみませんか。



主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、公益財団法人京都市ユースサービス協会、京都市

## プレイ！シアター in Summer 2025 < ステージプログラム > アロフト・サーカス・アーツ『ブレイブ・スペース』 from アメリカ

日程：8月5日(火) 13:00/18:30、8月6日(水) 13:00  
会場：サウスホール 舞台上

主催

演劇

舞踊



### アーティストと観客のゼロ距離で繰り広げられる、約1時間の“勇敢な”サーカス！



©Mark Ronson



©John Schila

アメリカで絶大な人気を誇るサーカスカンパニー「アロフト・サーカス・アーツ」。

『ブレイブ・スペース』は、パンデミックによって世界が分断された時代に、「信頼しあえるコミュニティをつくる」というアイデアをもとに生み出された“観客の協力”で上演するパフォーマンス。小さなテント（を組み立てて解体するまでもがパフォーマンスの一部！）の中で、美しくもハラハラのパフォーマンスが展開。観客は、床に座ったり、寝転んだり、ときにはポールを支えたり組み立てたり…。作品の一員として迎え入れられます。6人のアーティストと100人の観客の信頼関係により成立する、約1時間の“勇敢な”サーカス。ゼロ距離で繰り広げられるパフォーマンスの数々に一瞬たりとも目を離せません！

演出・コンセプト：シェイナ・スワンソン

#### プロフィール

##### アロフト・サーカス・アーツ | Aloft Circus Arts

2005年設立。強靱な肉体による大胆不敵さと温かみのある芸術性を兼ね備えたパフォーマンスが特徴。多彩なサーカステクニックをもつ世界有数のアスリートたちが集まっているが、身体的な能力だけでなく、感性、力強さ、美しさ、勇敢さ、共感、純粋な創造性といった人間の能力にフォーカスし、観客とのコミュニケーションによって作品空間を共有することを信条としている。

##### シェイナ・スワンソン | Shayna Swanson

アロフト・サーカス・アーツ代表・創設者。元体操選手、ダイバー。2005年、ボルダーで開催されたエアリアル・ダンス・フェスティバルで、エアリアル振付の優秀者におられるグレン・P・デビス奨学金を受賞。同年、アロフト・サーカス・アーツを結成し、初の長編ショー『Rolling Blackouts』を発表。国内外のエアリアル・フェスティバルやサーカス・フェスティバルでも高い評価を得る。

< 他地域での公演 >

福島公演 7月20日(日)・21日(月・祝) いわき芸術文化交流館アリオス 大リハーサル室  
東京公演 7月28日(月)～31日(木) 世田谷パブリックシアター  
長野公演 8月2日(土)・3日(日) 松本市美術館 市民創造ひろば(中庭)  
福岡公演 8月9日(土)・10日(日) J:COM北九州芸術劇場 中劇場(舞台上)  
ほか

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市  
特別協賛：ローム株式会社  
制作協力：世田谷パブリックシアター  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）  
独立行政法人日本芸術文化振興会

#### チケット情報

おとな：2,000円 / 会員特別価格 1,800円

こども（0～18歳）：800円

おとな+こどもペア：2,500円

※4歳以上推奨

6月15日(日)一般発売 / 6月8日(日)会員先行発売

プレイ！シアター in Summer 2025 <ステージプログラム>  
『CLUB ORIGAMI (クラブオリガミ)』

日程：8月9日(土) 11:00/13:00、8月10日(日) 11:00  
会場：ノースホール

主催

舞踊

破って、折って、くしゃくしゃに！

CLUB ORIGAMI の魔法の世界に飛び込もう！！



©SummerDean



©SummerDean

折り紙をモチーフにした参加型パフォーマンス。

巨大な紙を使って、丸めたり、ビリビリ破いたり、ファッション・ダンス・生演奏が一体となったおとな子どもも一緒に楽しめるパフォーマンスです。

ダンスアーティスト：青山磨紀子、松本武士  
作曲家・ミュージシャン：ロバートホワット  
ツアーダンサー：斉藤ますみ

## プロフィール

### Ichi Ni San

Ichi Ni San はイギリスをベースとする日本人ダンスアーティスト青山磨紀子、松本武士とミュージシャンロバートホワットのトリオ主宰のカンパニー。イギリスと日本の文化の融合から子どもの遊び心と好奇心をインスピレーションに子どものためのダンスパフォーマンスを創作し、クラブオリガミは過去16カ国ツアーで周り世界の子どもたちに感動を届けている。

<他地域での公演>

愛知公演：7月23日(水)・24日(木) 愛知県芸術劇場 ほか

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市特別協賛：ローム株式会社

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会

## チケット情報

全席自由

おとな：1,800円 / 会員特別価格 1,700円

こども(0~18歳)：500円

おとな+こどもペア：2,000円

おすすめの年齢 4歳~9歳 ※0歳から入場可能

6月15日(日)一般発売 / 6月8日(日) 会員先行発売

## プレイ！シアター in Summer 2025

### オープンデイ、劇場ツアー、舞台スタッフワークショップ

日程：①オープンデイ：8月16日(土)、8月17日(日)

②劇場ツアー：8月12日(火)

③舞台スタッフワークショップ：8月13日(水)、8月14日(木)

会場：全館

主催

音楽

演劇

舞踊

美術・映像

今年も開催！家族や友達と楽しめる、ロームシアター京都の夏休み恒例イベント



撮影：山地憲太



撮影：山地憲太



撮影：山地憲太



撮影：山地憲太



撮影：山地憲太



撮影：山地憲太

”劇場で遊ぼう”を合言葉に、毎年たくさんの子どもたちが集まる大好評企画「プレイ！シアター」を今年も開催します！ロームシアター京都全館を利用した子どもから大人まで楽しめるイベントがもりだくさんです。

#### ①オープンデイ

コンサートや落語などのステージや、楽器体験やさまざまなワークショップなど、劇場をたっぷり楽しんでいただける2日間！

- ・京都市交響楽団 0歳からの夏休みコンサート
  - ・子ども市民寄席～小学生のためのらくご教室～
- は次頁を参照ください。

#### ②劇場ツアー

普段は入れない楽屋やバックステージまで、探検してみよう！

#### ③舞台スタッフワークショップ

劇場のしかけ、音、光を自由にあやつって、舞台を演出してみよう！

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市  
特別協賛：ローム株式会社  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会

## プレイ！シアター in Summer 2025 京都市交響楽団 0歳からの夏休みコンサート

日程：8月16日(土) 11:00/14:00

会場：メインホール

主催

音楽

音と絵で感じる、楽しい冒険が待っている！



撮影：山地憲太

毎年恒例となった、0歳から参加可能な、京都市交響楽団によるオーケストラコンサート。昨年好評だった tupera tupera の絵本とオーケストラとのコラボレーションが今年も実現します。

指揮：辻博之

オーケストラ：京都市交響楽団

絵本：tupera tupera (ツペラツペラ)

構成・演出：ごまのはえ

### プロフィール

#### 辻博之 | Hiroyuki Tsuji

1984年北海道生まれ。東京藝術大学音楽学部声楽科在学中からオペラ指揮者としての研鑽を積み、2017年オーケストラ・アンサンブル金沢定期公演を指揮してデビュー。札幌、読響、東京フィル、大阪フィル、兵庫 PAC 管、九響等と共演を重ねている。2021年には東京芸術劇場シアターオペラ 團伊玖磨《夕鶴》を指揮し、『音楽現代』誌に「活躍を期待する指揮者」として取り上げられた。舞台作品への劇音楽の作曲や、ディズニー・オン・クラシック等、垣根の無い音楽活動も積極的に行う他、幼児や子供との音楽活動に力を注いでおり、楽しいお話を交えた家族で楽しむコンサート、赤ちゃんと一緒に参加できる合唱団等、〈音楽を未来に繋げる〉活動も積極的に行っている。



© 深谷義宣

#### tupera tupera | ツペラツペラ

亀山達矢と中川敦子によるユニット。絵本やイラストレーションをはじめ、TVや舞台、空間のアートディレクションなど、様々な分野で幅広く活動している。著書に「かおノート」(コクヨ)「やさいさん」(Gakken)「いろいろバス」(大日本図書)「うんこしりとり」(白泉社)など多数。海外でも多くの国で翻訳出版されている。NHK Eテレの工作番組「ノージーのひらめき工房」のアートディレクションも担当。絵本「しろくまのパンツ」(プロンズ新社)で第18回日本絵本賞読者賞、Prix Du Livre Jeunesse Marseille 2014 (マルセイユ 子どもの本大賞 2014) グランプリ、「パンダ銭湯」(絵本館)で第3回街の本屋が選んだ絵本大賞グランプリ、「わくせいキャベジ動物図鑑」(アリス館)で第23回日本絵本賞大賞を受賞。2019年に第1回やなせたかし文化賞大賞を受賞。



©Ryumon Kagioka

#### 京都市交響楽団 | City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年創立。日本で唯一、自治体が運営に責任を持ち、〈身近な存在として、市民に愛され誇りとされる〉〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指している。23年第14代常任指揮者に沖澤のどか、24年首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリーントが就任。京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動等、多彩な活動を行っている。

### チケット情報

小学生以上：1,000円、未就学児：無料

6月14日(土)一般発売 / 6月7日(土) 会員先行発売

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市特別協賛：ローム株式会社

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

# プレイ！シアター in Summer 2025 こども市民寄席 ～小学生のためのらくご教室～

日程：8月17日(日) 11:00/14:00

会場：メインホール

主催

演劇



## 落語の世界へようこそ！



撮影：山地憲太

1957年からロームシアター京都恒例の落語会として長く親しまれてきた「市民寄席」が、こども向け特別企画に変身！落語を初めて見るこどもたちも大歓迎の入門教室です。



## チケット情報

全席自由

小学1～3年生：500円

小学4年生～おとな：1,000円

対象：小学1～3年生 ※小学4年生以上も入場可

6月14日(土) 一般発売 / 6月7日(土) 会員先行発売

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

特別協賛：ローム株式会社

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

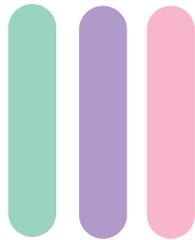


# プレイ！シアター for the 10<sup>th</sup> anniversary オープンデー

日程：2026年1月10日(土)・1月11日(日)  
会場：全館

主催

2016年1月10日、ロームシアター京都は京都会館からリニューアル・オープンしました。10周年の記念日にあたる2026年1月10日・11日の二日間を「プレイ！シアター for the 10<sup>th</sup> Anniversary」と題し、《継承と創造》「三番叟づくし」、「饗宴！5台のピアノと5人のピアニスト(仮)」をはじめ、オープンデーとしておとなも子どもも楽しめる企画を開催します。



## プレイ！シアター for the 10<sup>th</sup> anniversary 《継承と創造》「三番叟づくし」

日程：2026年1月10日(土) 10:30  
会場：サウスホール

主催

演劇



五穀豊穡を寿ぐ三番叟 多様な芸能が一堂に会する



能楽・翁より「三番三」

撮影：上杉通

ロームシアター京都 10周年のアニバーサリーにあたるこの日、様々な芸能の「三番叟」が一堂に会します。

「三番叟」は、天下泰平を祈る「翁」に続き演じられる五穀豊穡を寿ぐ舞です。狂言「三番叟(三番三)」のほか、人形浄瑠璃や歌舞伎でも「三番叟もの」とよばれる多くの演目があり、また日本各地のさまざまな郷土芸能においても祝言の舞として演じられています。

本公演では狂言(能楽)、淡路人形(人形浄瑠璃)、京舞(舞踊)、長唄(音曲)、早池峰神楽(神楽)と様々な「三番叟」演目を比較上演します。10周年のお祝いにくわえ、日本各地で大切に伝承されてきた「三番叟」という芸能をとおし、自然と人との営みを感じます。

出演(五十音順): 淡路人形座(淡路人形浄瑠璃)、井上安寿子(京舞井上流)、柘屋勝七郎(長唄)、茂山千五郎(大蔵流狂言)、岳神楽(早池峰神楽)

### 淡路人形座 | Awaji Ningyoza

500年の歴史を誇り、国指定重要無形民俗文化財でもある淡路人形浄瑠璃。最盛期の18世紀初めには40以上の座元が覇を競い、日本全国を営業し各地に人形芝居を伝えた。大きな人形を遣った派手でケレン味のある演出が特徴。淡路人形座は1964年に江戸時代から続く吉田傳次郎座の道具類を引き継ぎ、興行を始めた。常設館で公演する一方、国内外への出張公演や後継者団体への指導、全国の伝統人形芝居保存会への協力など、伝統人形芝居の普及、発展のための活動も積極的に行っている。



### 井上安寿子(京舞) | Yasuko Inoue

1988年能楽観世流九世観世鏡の丞と京舞井上流五世家元井上八千代の長女として京都に生まれる。2歳より稽古を始め、四世及び五世井上八千代に師事。3歳で「四世井上八千代米寿の会」にて初舞台(上方唄「七福神」)。2006年井上流名取となる。2013年井上安寿子主宰の舞踊公演「葉々(ようよう)の会」を発足。2015年学校法人「八坂女紅場学園」(祇園女子技芸学校)の舞踊科教師になる。京都市芸術新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、京都府文化賞奨励賞などを受賞。公益社団法人日本舞踊協会会員。京都芸術大学舞台芸術学科非常勤講師。



### 茂山千五郎(狂言) | Sengoro Shigeyama

4歳の時に『以呂波』のシテにて初舞台。その後『三番三』『釣狐』『花子』『狸腹鼓』を披く。現在は「茂山狂言会」「Cutting Edge KYOGEN」、弟茂との兄弟会「傳之会」、落語家桂よね吉との二人会「笑えない会」を主催し、幅広い年代層へ狂言の魅力を伝える。また上海京劇院・厳慶谷や川劇変面王・姜鵬とのコラボ公演など、他ジャンルとの共演も精力的に行う。平成28年十四世茂山千五郎を襲名。



### 柘屋勝七郎(長唄) | Katsushichiro Kineya

1960年京都生まれ。10歳で三味線をはじめ15歳で南座の三代目市川猿之助公演にて初舞台、同年柘屋寿浩の名前を許される。2010年二代目柘屋勝七郎を襲名。海外公演を含む年間百以上の公演をこなし、作曲活動、講演、後進の指導にあたる。舞台はもちろん、テレビ・ラジオにも数多く出演し、洋楽、落語等、他の芸術とも積極的に交流。自らのリサイタル<としひろ会><二題の会>を主宰。一般財団法人柘勝会理事。



撮影：浅野功

### 岳神楽(早池峰神楽) | Hayachine Take Kagura

岳神楽が伝承されている岳地区は岩手県花巻市大迫町の中心部から北東に18km。集落としては最も早池峰山の近くに位置している。岳地区には早池峰の神を奉る早池峰神社があり、岳神楽はその奉納神楽。昭和51年に「早池峰神楽」として、国指定重要無形民俗文化財(第1号)に指定され、平成21年にはユネスコ無形文化遺産に登録された。



### チケット情報

全席指定  
一般：5,500円 / 会員特別価格 5,000円  
ユース(25歳以下)：3,000円  
18歳以下：1,000円  
9月20日(土) 一般発売 / 9月13日(土) 会員先行発売

主催：京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)



プレイ！シアター for the 10<sup>th</sup> anniversary

# 「饗宴！5台のピアノと5人のピアニスト(仮)」

日程：2026年1月11日(日) 開演時間未定

会場：サウスホール

主催

音楽



## 5台のピアノが織りなす音楽の饗宴



左から、金子三勇士(©Seiichi Saito)、中野翔太(©Taira Tairadate)、高木竜馬(©Yuji Ueno)、山縣美季、小井土文哉(©井村重人)

2026年1月に10周年を迎えるロームシアター京都。これまで数々の公演を彩ってきた5台のピアノたちが、開館以来初めて一堂に集結します。各回違うテーマでのプログラムを3公演行います。様々なピアノの編成を、これからの日本音楽界を率いるピアニストたちの演奏によって堪能するコンサートです。

出演：金子三勇士、中野翔太、高木竜馬、山縣美季、小井土文哉

## プロフィール

### 金子三勇士 | Miyuji Kaneko

1989年日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれる。6歳で単身ハンガリーに渡りバルトーク音楽小学校に入学。11歳でハンガリー国立リスト音楽院大学に入学。

全課程取得後に帰国し、東京音楽大学付属高等学校を経て東京音楽大学を首席で卒業、同大学院修了。2008年、バルトーク国際ピアノコンクール優勝の他、数々の国際コンクールで優勝。第22回出光音楽賞他を受賞。

これまでにゾルタン・コチシュ、小林研一郎、ジョナサン・ノット他と共演。国外でも広く演奏活動を行っている。

NHK-FM「リサイタル・パッション」に司会者としてレギュラー出演の他、テレビ、ラジオなど多数のメディアに出演。ドイツ・グラモフォンよりCD「フロイデ」他をリリース。キシュマロシュ名誉市民。スタインウェイ・アーティスト。

HP <http://miyuji.jp/>



©Seiichi Saito

### 中野翔太 | Shota Nakano

1999年からジュリアード音楽院プレ・カレッジに留学。同音楽院を経て、2009年に同大学院を卒業。第15回出光音楽賞受賞。これまでにデュトワ指揮/ NHK交響楽団、小林研一郎指揮/読売日本交響楽団、小澤征爾指揮/ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、アシュケナージ指揮/ NHK交響楽団等と多数共演。

近年は、大植英次指揮/大阪フィルとガーシュウィン『ラプソディー・イン・ブルー』、ジョナサン・ノット指揮/東京交響楽団とシェーンフィールド『4つのバラッド』を共演、神奈川県民ホールで開催された『浜辺のアインシュタイン』に出演した他、坂本龍一氏の指名によりピアノとオーケストラの作品を演奏。圧倒的な技術に裏打ちされた、豊かな表現力と透明な音色が高く評価されている。



©Taira Tairadate

### 高木竜馬 | Ryoma Takagi

第16回エドヴァルド・グリーグ国際ピアノコンクールにて優勝及び聴衆賞を受賞し一躍世界的に脚光を浴びる。その他にも第26回ローマ国際ピアノコンクールなど7つの国際コンクールで優勝。これまでに、オスロフィル、ベルゲンフィル、ウクライナ国立フィル、ウィーン室内管、NHK交響楽団、大阪フィル、京都市交響楽団など国内外のオーケストラと共演。ウィーン楽友協会やシェーンブルン宮殿等の世界各地の著名なホールで演奏するなど広範な演奏活動を行っている。

NHK総合『ピアノの森』では雨宮修平メインピアニスト役で出演した他、映画『アナログ』やテレビ朝日『題名のない音楽会』、NHK Eテレ『青のオーケストラ』などメディアや音楽祭への出演多数。デビューアルバムとなる『Metamorphose』をリリースし好評を博す。京都市立芸術大学専任講師に就任し後進の指導にも当たっている。



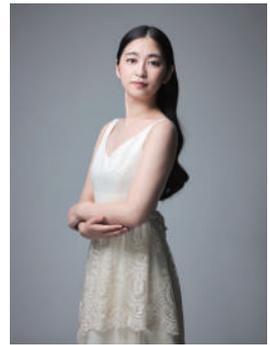
©Yuji Ueno

### 山縣美季 | Miki Yamagata

2002年鎌倉市出身。第89回日本音楽コンクールピアノ部門第1位。第44回ピティナ・ピアノコンペティション特級ファイナル入選。かながわ音楽コンクールでユースピアノ部門とピアノ部門の両方でコンクール史上初の同年二冠を果たす。これまでに、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団などと共演。

第7期東京藝術大学宗次徳二特待奨学生。2022年シャネル・ビグマリオン・デイズ参加アーティスト。2022、2023年度ロームミュージックファンデーション奨学生。2023年度青山音楽財団奨学生。

東京藝術大学卒業後、パリ国立高等音楽・舞踊学校第2課程ピアノ科に在籍中。Hortense CARTIER-BRESSON、Fernando ROSSANO、東誠三、日比谷友妃子の各氏に師事。



### 小井土文哉 | Fumiya Koido

第87回日本音楽コンクール、第15回ヘイスティングス国際ピアノ協奏曲コンクール(イギリス)をはじめ、国内外の多数のコンクールで優勝を果たす。2022年5月には英ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団のソリストとして英国ツアーを行い好評を博した。その他、国内でも読売日響、東京フィル、東響、日本フィル等と共演多数。英BBCラジオ3、NHKクラシック倶楽部やNHK-FM「リサイタル・パッション」等国内外のメディアに出演。桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業。桐朋学園ソリストディプロマコースを経て、イタリア・イモラ音楽院を修了。現在同音楽院ポスト・ディプロマコースに在学中。深川美奈、須田真美子、ボリス・ペトルシャンスキーの各氏に師事。



©井村重人

## チケット情報

全席指定

一般：2,000円 / 会員特別価格 1,800円

ユース(25歳以下)：1,000円

ほか通し券等

9月21日(日) 一般発売 / 9月14日(日) 会員先行発売

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

## ホリデー・パフォーマンス

日程：vol.18 7月12日(土)、vol.19 12月中旬、vol.20 2026年3月(予定)  
会場：プロムナード、パークプラザ3階 共通ロビー ほか

主催

音楽

舞踊

日常にアートにふれる機会を

# Holiday Performance

音楽をはじめ美術や演劇など、様々なジャンルのパフォーマンスを無料でお楽しみいただけるシリーズです。

アーティスト：

vol.18 うきも -PROJECT- (谷口界×麻風)

vol.19 さのみきひと

vol.20 Duo März (デュオ メルツ)

### プロフィール

#### 谷口 界 | Kai Taniguchi

サーカスパフォーマー。沢入国際サーカス学校出身。メインアクトはシルホイール、倒立。ながめくらしつ、小池博史 BP『風の又三郎』森山開次『サーカス』等に出演。フィールドに縛られない独自の発想で、サーカスの身体の可能性を追求している。2020年香川県に拠点を移し、SCF アソシエイトアーティストとしても活動中。2025年大旗麻風と共に“うきも -PROJECT-”を立ち上げる。



© 西川博喜

#### 麻風 | mafu

大旗遣い。あらゆる自然物や自然事象を手本とし、表現へと繋げる。「旗」の可能性を追求するため多種多様なコラボレーションを展開。舞台美術としての役割も担い、新たな表現様式の確立に注力している。香川県在住。



© 三品知子

#### さのみきひと | Mikihito Sano

兵庫県出身。パーカッションとノイズボックスの演奏を軸にソロアーティストとして活動。Ableton LiveやLooperを駆使したパフォーマンスは聴衆を未知の世界へと誘う。ソロ活動以外にもライブサポートやレコーディング、音源提供など多方面で活躍。繊細なサウンドと熱を帯びたプレイに定評がある。



#### Duo März | デュオ メルツ

井上ハルカ (Saxophone)・西岡まり子 (Percussion) による現代音楽ユニット。

各々フランス・ドイツ・スイスでの活動を経て、互いに現代音楽を主軸として多方面で活動。2021年の結成以来、委嘱新作初演や日本初演作品を含む公演は多方面より高評を得る。



主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）  
独立行政法人日本芸術文化振興会

### チケット情報

無料、申込不要

# OKAZAKI PARK STAGE 2025

日程：9月下旬～10月下旬  
会場：ローム・スクエア

主催

音楽

演劇

舞踊

美術

ロームシアター京都の中庭「ローム・スクエア」で、秋の賑わいを



撮影：中谷 利明



撮影：中谷 利明



撮影：中谷 利明

ロームシアター京都の中庭「ローム・スクエア」を会場に、今年も秋の賑わいを創出します。

## ・ローム・スクエアライブ

岡崎地域のみなさんを中心とした多彩なステージ！こどもからシニアまで、みなさんのハレ舞台です。

## ・ローム・スクエアライブ ～オープンコールステージ～

オープンコール（公募）で選出された団体によるパフォーマンスにご期待ください。

## ・ちっちゃい焚き火（薪ストーブ）を囲んで語らう会

ローム・スクエアでちいさな焚き火の場をつくります。原始的な「火」を囲みながら、肩書や身分、所属が問われず、誰もが自立的かつゆるやかに集える場を創出します。

監修：小山田徹

その他、関連企画も予定しています。

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市  
協力：京都市岡崎いきいき市民活動センター

## プロフィール

### 小山田 徹 | Toru Koyamada

アーティスト。1961年鹿児島に生まれる。京都市立芸術大学日本画科卒業。84年、大学在学中に友人たちとパフォーマンスグループ「ダムタイプ」を結成。ダムタイプの活動と平行して90年から、さまざまな共有空間の開発を始め、コミュニティセンター「アートスケープ」「ウィークエンドカフェ」などの企画をおこなうほか、コミュニティカフェである「Bazaar Cafe」の立ち上げに参加。京都市立芸術大学学長。



## チケット情報

無料、申込不要

# ユスカル！～若者文化市～ 2025

日程：11月3日(月・祝)  
場所：ローム・スクエア ほか

主催



「ユスカル！」とは、「ユース・カルチャー」の略称。【若者のミカタ】をテーマに、若者の多様な営みを文化と捉え、イベントを通じてその活動の一端を知ってもらうことを目的とした若者文化発信イベントです。若者文化を「面白い・身近なもの」「応援したい(見方・味方)」と共感いただけることを目指すとともに、出演・出店する発信者自らが若者を応援する若者になっていく機会となることも企図しています。

## お問合せ

ユスカル！事務局  
京都市東山青少年活動センター 075-541-0619

## チケット情報

無料・申込不要

主催：公益財団法人 京都市ユースサービス協会、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

## ロームシアター京都×京都市文化会館連携事業「シアターデビュー！」促進プログラム タイニーダンサー『GRO(W)(仮)』from デンマーク

日程 | ①7月21日(月・祝) 11:00/14:00 ②7月23日(水) 11:00/14:00

会場 | ①京都市西文化会館ウエスティ 創造活動室  
②京都市東部文化会館 創造活動室

主催

舞踊

### 「シアターデビュー！」にオススメ、乳幼児向けのパフォーマンス



©Maho Harada

赤ちゃんや小さなこどもと一緒に楽しむダンス作品がデンマークからやってきます。似ているけれど異なる、姉妹二人の成長の物語。夢のなかにいるような柔らかな音楽、触れることのできる美術や衣装、風や木の葉や波のリズムにインスパイアされたダンスから、成長すること、変化することをえがくパフォーマンス。

#### 「シアターデビュー！」促進プログラムについて

ロームシアター京都と京都市内の文化会館が協働し、未就学児向けの作品上演を行う本企画。地域のこどもたちが初めて劇場に足を運ぶ＝“シアターデビュー！”の機会と、こどもとおとなが一緒に楽しめる場をつくることで、地域コミュニティと劇場の結びつきを深めることを目指しています。

振付・芸術監督：メテ・モラー・オーヴェルガール

#### プロフィール

##### タイニーダンサー | Tiny Dancer

2018年、アーティストのメテ・モラー・オーヴェルガールによって設立。こども（ときに赤ちゃんや幼児が対象）や若者向けの作品を数多く製作し、観客の感覚や共感に届き深く共鳴するダンス作品の創作をミッションとしている。コンテンポラリーダンス、ライブ音楽、感覚的舞台美術を独自に織り交ぜた、個人的および社会的なテーマを反映したインタラクティブな作品に定評がある。

#### <他地域での公演>

神奈川公演 7月19日(土) 川崎市アートセンター  
沖縄公演 7月27日(日)～29日(火)(予定) りっかりっかフェスタ2025  
ほか

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団（ロームシアター京都、京都市東部文化会館、京都市西文化会館ウエスティ）、京都市  
協力：りっかりっかフェスタ 2025  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）  
独立行政法人日本芸術文化振興会

#### チケット情報

全席自由

こども（0～18歳）：300円

おとな：1,000円

※対象 | 1歳～5歳（要保護者同伴）

5月24日(土)一般発売 / 5月17日(土)会員先行発売

## シニア向け事業 「となりの劇場」

日程：通年  
会場：京都市内の高齢者施設

主催

演劇

ロームシアター京都が企画・実施するアウトリーチ事業です。演出家のごまのはえを講師に迎え、演劇の手法を使ったワークショップを企画・実施します。京都市内の高齢者施設へ出向き、地域の人々に向けたワークショップを行います。公共劇場として、創造性豊かな地域づくりへの貢献を目指しています。

講師：ごまのはえ

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市助成：文化庁文化芸術振興費補助金  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）  
独立行政法人日本芸術文化振興会

### ごまのはえ | Gomanohae

劇作家、演出家、ニットキャップシアター代表。1977年大阪生まれ。1999年、自身が劇団代表となって「ニットキャップシアター」を設立。以来、京都を創作の拠点に日本各都市で公演をおこなっている。楽器や仮面など様々な表現手段でイメージーションあふれる表現を追求する一方、「街の記憶」をテーマに地域の歴史や文化を題材にした創作もおこなっている。2004年『愛のテール』で OMS 戯曲賞大賞受賞。2005年自身の故郷大阪府枚方市を題材にした『ヒラカタ・ノート』で OMS 戯曲賞特別賞および新・KYOTO 演劇大賞受賞。2022年サハリン（樺太）の100年の歴史を描いた『チェーフも鳥の名前』で希望の大地の戯曲賞「北海道戯曲賞」大賞を受賞。



撮影：脇田友

## アセンブリープログラム

日程：通年  
会場：ロームシアター京都

主催



ロームシアター京都では、市民に憩いの場を提供し、新しい“京都会館”＝ロームシアター京都を象徴するプログラムのひとつとして、日常的に「アセンブリープログラム」を開催しています。“アセンブリー”という名称には、京都会館の英語表記「Kyoto Assembly Center」にある、「集会」や「会議」という開館時に込められた思いを引き継ぎつつ、幅広い教養や知識を気軽に得られる大学等の課外授業のイメージを込めています。

アセンブリープログラムは、「ほんものとの出会い」を作り出す京都岡崎 蔦屋書店（カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社）と連携し、賑わいを生み出すために行うさまざまなイベントの総称です。ロームシアター京都が目指す劇場文化を育むための入り口として、気軽に参加できるマルシェや読書会、トークイベントなどのプログラム、一般参加型のワークショップなどのプログラム、ロームシアター京都自主事業と連動したプログラム、地域施設・団体と連携したプログラムを展開しています。

### 【過去開催したアセンブリープログラムの一例】

- ・マルシェ（京都岡崎 つむぐ ほか）
- ・ワークショップ（京陶人形の絵付け体験ワークショップ ほか）
- ・絵本のよみきかせ
- ・トークイベント
- ・展示企画 ほか

## WEB マガジン「Spin-Off（スピノフ）」



# SPIN-OFF

by ROHM Theatre Kyoto

ロームシアター京都の自主事業（劇場自らが企画あるいは招聘し、主催または共催としておこなう事業）の上演・実施において、企画の趣旨や魅力、それらの背景を紹介するプラットフォームとしてWEBマガジンを発行しています。作品に関するインタビューやコラム、上演した公演やトークイベントのレポートやレビューを掲載するほか、社会と芸術にまつわる多様なテーマに基づくコラムも掲載します。上演の場所としてだけでなく、思考するメディアとしてのロームシアター京都のすがたを蓄積していきます。また、若手の書き手による公演レビューの執筆・掲載にも取り組み、あらたな出会いを通して関西圏の舞台芸術シーンにおける批評の活性化をめざします。

## 音楽総合体験施設 ミュージックサロン

日程：通年  
会場：パークプラザ3階



ミュージックサロンは、音楽とさまざまな形で触れあえる施設です。音楽にまつわる展示や本格的な音響施設を備えた120インチスクリーンでのオペラ等の鑑賞等、随時開催しています。

入場無料 ※一部整理券が必要な場合あり

共同運営：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団  
公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション  
共催：ローム株式会社

# 会員制度

## ● サポーター・パートナー会員

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団では、京都コンサートホールおよびロームシアター京都の事業の充実と、京都における「舞台芸術の創造環境向上」、「質の高い芸術文化活動の創出」を目的として、広くご支援をいただくための賛助会員制度を設けています。2025年は京都コンサートホールが30周年、2026年にはロームシアター京都が10周年、そして京都市交響楽団が70周年を向かえる、節目の年となります。そこで、これまでのサポーター・パートナー制度を見直し、2025年4月から以下の3つのコースを設けました。より多くの公演にご来場いただき、両館の「ファン」となって、ご支援いただくことに喜びと楽しみを感じていただけるよう努力してまいります。皆さまのあたたかいご支援・ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

### ①「鑑賞で応援！コース」

チケットの割引・ご招待等の特典あり。税制上の優遇措置なし。

### ②「寄付で応援！コース」

税制上の優遇措置あり。

### ③「U29コース」(ロームシアター京都のみ)

29歳以下の方を対象。

税制上の優遇措置あり。

### お問合せ

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団  
サポーター・パートナー制度担当窓口(ロームシアター京都内)  
TEL: 075-746-3362 (10:00 ~ 17:00、臨時休館日除く)

### 年会費

- ①②法人1口10万円～、個人1口2万円～
- ③個人500円/月

### 会員期間

毎年4月1日から翌年3月31日まで  
(いつでもご入会いただけます)

### 特典

京都コンサートホール・ロームシアター京都の定期発行物や公演チラシに加え、会員限定の会報誌をお届け。会員限定のイベント等へのご招待、両館の自主事業公演の最速先行予約など。

※チケット割引は「鑑賞で応援！コース」のみ。

## ● Club 会員

### 特典

京都コンサートホール・ロームシアター京都が指定する公演のチケット優先予約、指定公演チケットの割引販売、公演情報等のご送付、会員限定イベントの開催など。

### お問合せ

京都コンサートホール・ロームシアター京都Club事務局  
TEL.075-711-2980  
(10:00 ~ 17:00 休館日 = 第1・第3月曜日 / 休日の場合はその翌平日、年末年始)

### 年会費

2,000円(税込)

### 会員期間

毎年4月1日から翌年3月31日まで  
(いつでもご入会いただけます)

## ●アクセシビリティ情報

### 観劇サポート

ロームシアター京都自主事業では、お客様の観劇に際して以下の観劇サポートを実施いたします。

対象公演の各情報欄にマーク（  ）を記しています。

#### みえない・みえづらいお客様へ

**音声ガイド** 音声ガイドとは、舞台の美術や照明、また登場人物の動きや身につけているものについてリアルタイムで解説し、その解説音声声を副音声として利用者様にお届けするシステムです。舞台の生音を耳で聞きながら、受信機からの副音声を同時に聞いていただきます。



#### きこえない・きこえづらいお客様へ

**ポータブル字幕機** ポータブル字幕機では、出演者が発話するセリフを文字としてご覧いただけます。セリフ以外にも効果音や物音、音楽が流れているかなども場面に合わせて表示されます。舞台とお手元のポータブル字幕機、両方を見ながらご鑑賞ください。



**ヒアリングループ** ヒアリングループとは、舞台付近で集音した音を送信機から専用受信機へ送ることで、舞台の音をクリアに聞くことができるシステムです。磁気コイル付補聴器・人工内耳を装着の方は、専用受信機がなくても送信機からの音を受信していただけます。



### 施設におけるバリアフリーサービス

バリアフリーに配慮した設備とサービスをご用意しています。

#### 車椅子を利用されるお客様へ

メインホール、サウスホールには、車椅子をご利用のまま観覧できる車椅子スペースがございます。劇場備え付けの車椅子のお貸出しも可能です。

#### 福祉専用駐車場

車椅子をご利用の方や移動が困難な方などにご利用いただける福祉専用駐車場（2台）がございます。

#### 多目的トイレ

館内各フロア（5ヵ所）およびホール内ホワイエにございます。設備：オストメイト対応、おむつ交換台、ベビーチェア、多目的シート（約150cm × 60cm、1階プロムナード北側の多目的トイレのみ）

### 託児サービス

ロームシアター京都自主事業では、小さなお子さまをお連れの方も安心してゆっくりと舞台をお楽しみいただけるよう、託児サービスを実施いたします。対象公演の各情報欄にマーク（）を記しています。

対象年齢：3か月～就学前

料金：有料1,000円（税込）／1公演／お子さま1人あたり

※一部料金の異なる公演がございます。

※お申込・詳細についてはロームシアター京都 WEB サイト（各公演ページをご確認ください）

### アクセシビリティに関するお問い合わせ

ロームシアター京都 Tel. : 075-771-6051 Fax : 075-746-3366 Email : accessibility@rohmtheatrekkyoto.jp

Fax/Emailの場合、以下の通りお知らせください。内容確認後、こちらからご連絡いたします。

件名：「アクセシビリティについて」①お名前 ②ご連絡先 ③お申込・ご質問内容

## ●事業課メンバー紹介

### プログラムディレクター

#### 小倉由佳子 | Yukako Ogura

ロームシアター京都プログラムディレクター、事業課長。2008年～2013年、アイホール（伊丹市立演劇ホール）ディレクターとして、同劇場の主にダンスプログラムの公演、ワークショップを企画制作。2016年4月よりロームシアター京都勤務、2021年4月より現職。

### ロームシアター京都 事業課



写真：山地憲太

ロームシアター京都 事業企画チームメンバー（2025年3月現在）

< 蒼森彩加、小倉由佳子、垣田みずき、川原美保、木原里佳、儀三武桐子、近藤真音、寺田貴美子、成瀬はつみ、枡谷雄一郎 >